京城日報

十五日夕刊
本紙定價 一ヶ月金五拾錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○陸軍特別大演習組織

大元帥陛下には來る十一月中旬第十二及び第十八師團管下に於て執行すせらる可き秋期陸軍特別大演習御統裁あらせらる可きに就き上原參謀總長は同大演習統監部及び兩軍組織の御裁可を經たる由にて兩軍司令官參謀長左の如くなりと(東京特電)

北軍(侵入軍)司令官 陸軍大將 大迫尚道
參謀長 陸軍少將 宇垣一成
南軍(防禦軍)司令官 陸軍中將 井口省吾
參謀長 陸軍少將 與倉喜平

○ソンム獨軍の總退却

ソンム方面一帶に於ける獨軍は今ば遂に全線に亙りて退却を爲しつゝあるが砲兵の援護射擊巧妙に行はれつゝある爲め聯合軍は尚未だ新陣地占領を爲す事を得ず(紐育電報)

○希臘新政府樹立に就て ヴェネゼロス氏の談

サロニカ來電=ヴェネゼロス氏は語つて曰く吾人はサロニカに正式の政府を樹立し租稅を徵收し軍隊を備へん事を期す聯合國列强ば此政府を認知するに躊躇せざる可く、雅典の政府は自から消滅す可し希臘國王が、斯の如き態度を執りつゝあるは畢竟彼が希臘を以て自己一箇人の財產と心得居るが爲めなり、昨年中余は國王に向ひ希臘國民は所謂神聖なる王權を認め居らざる由を告げたる事あり、余は只管國王が其謬見に氣付くに至らん事を期待したりしが今や何事も空しくなりぬと(紐育電報)

○希國艦隊引渡光景

十一日附雅典來電に曰く、希臘艦隊の引渡は本日午後完了せり、佛英兩國の曳船及びトロール船は受授を終れる軍艦を投錨地點よりケラシニに曳き行けるが共間希國戰鬪艦は近く武裝を解除す可き希國戰鬪艦アッエロフ、レモンス、トルキッシュ三艦に對し砲口を向け萬一を警戒し一方佛國驅逐艦隊は絶えず附近を巡邏したり希國軍艦乘組將校は今朝拂曉錨者を命ぜられ更に荷物取纒の命を受け次で甲板に整列して軍艦引渡に關する命令の朗讀を聞けり斯くて艦を後にせる彼等は上陸する前深き沈默の中に曳船作業の開始せらるゝを凝視したり雅典市民は極めて平靜の狀態を示し居れり(倫敦電報)

○獨逸社會黨議員の宣言

獨逸帝國議會に於て社會黨議員シャイネマン氏は宣言して曰く『佛蘭西は宜しく獨逸より其占領地の還附を受く可く、白耳義は決して一吋の地域をも損する事無かる可きなり、佛蘭西の物は宜しく佛蘭西に白耳義の物は宜しく白義耳に而して獨逸の物は宜しく獨逸に屬す可き事、是れ自明の理にして人爲の濫りに變改するを許さゞる處なり』と此宣言は議員の一部にては喝采を受けたるも保守黨の議員に依り激烈なる反對を受けたり(巴里電報)

○露新提督

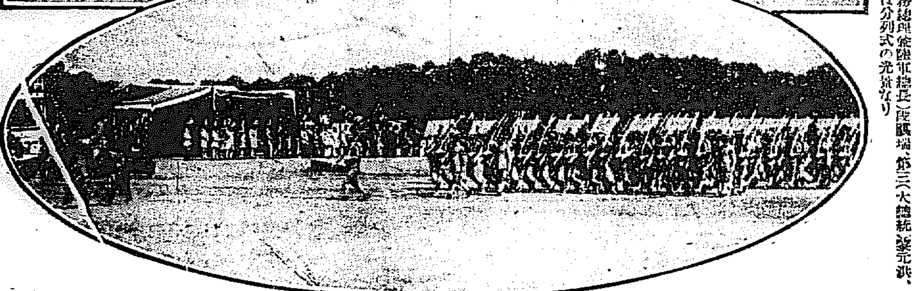
露都電報に曰くネペニネ中將は波羅的艦隊司令長官に任命せられたり

●法庫の鮮人水田

法庫縣に於ける朝鮮人の水田經營は追々見るべき者あり大孤家子に於ける本年作は極めて好穫にて同地作付地面は二十五天地にて一天地籾八石(玄米五石)の實收ありて時價洋銀三千三百元の收入を得たり而して之れが利益の分配は地主なる支那人より借入せる肥料及び耕作中の食料農具購入等の費用を差引たる殘餘を地主四分鮮人六分に配當するなりと(奉天)

●露國日本訪問團

露國遞信省書記官シチウキン氏を主腦とする露西亞の訪日團は去三日露都を出發したるを以て既に哈爾賓通過浦鹽より乘船日本に赴ける筈なるが一行は遞信農務關係の官吏より成り中にもシスチエンコ氏は東京鑛業學校長に手渡す可き露國鑛業委員會の書類を携帯し居れる由尚ほ彼等の使命とする處は日本と露西亞の間に於ける產業上の聯絡を明かにするにあり



□死を賭して閲兵

支那共和記念日の閲兵式は十日北京を距る約四哩の南苑練兵場に於て擧行せられたり。之れより先き一味の陰謀團は此機を以つて事を擧げんとするの秘密某秘書官識る所となりて黎總統の臨場を諫止したるも黎氏は儼然として一度發せる命令を取消す事は予の威信に關する所なりとして聽かず當日遂に死を決して臨場し無事之れを擧行せり(北京)

寫眞上は當日黎總統の閲兵しつゝある處にして前列右より第一(海軍總長)程璧光、第二(國務總理兼陸軍總長)段祺瑞、第三大總統黎元洪、(冠帽の羽根亂れたる人)第四(步兵統領)江朝宗、第六(參謀總長)王士珍氏等なり而して其下は分列式の光景なり

莫斯科市役所は日本が戰後露國と永久の戰ひに入る爲めに爲さんとする各種の事業をも調査すべく委託せりと(長春)

◉秋山中將歸任

閑院宮殿下を釜山に奉送し歸路釜山鎭海守備隊重砲兵隊を巡閲せし軍司令官秋山中將安藤參謀野津副官の一行は十五日夜八時五十分龍山著列車にて歸任す

◉土木研究會創立

京城に於ける土木請負業者は同業者相互の品性を向上し併せて業務上に於ける研鑽琢磨を爲さん爲め朝鮮全道の同業者を一團としたる朝鮮土木建築請負研究會を組織すべく十五日午後一時より京城商業會議所に於て創立總會を開會せり出席者三十餘名規約を編成し十名の評議員一名の理事長二名の理事を選擧し五時半散會夫より晩餐會を催したり當分事務所を長谷川町工友倶樂部內に設く可しと

◉清倉間開通期

十四日附夕刊『淸倉線工事近況』と題する淸津通信中淸津若坪間三十二哩の開業を十一月一日よりとせしは五日よりの誤植に付正誤す

◉協定運賃滿了

仁川各穀物貿易業者大阪商船及び尼崎汽船兩會社と穀物運賃の協定をなし爾來嚴重に契約を履行し相互の利益を確保し來りたるが歐洲戰亂勃發以來海運界は空前の活況を呈し來りたるを以て兩汽船會社にては本月末日期限滿了となるを好機とし一時該契約を中止すべき旨各契約者に申出でたるが穀物業者も多年繼續し來れる協定を此際廢棄するは遺憾に感ずる處なるも今後は自由競爭の下に於ける兩會社汽船及び社外船に積込む事なれば結局は何等痛痒を感ぜざるべしと

◉大邱中學問題協議

十四日大邱中學校問題に就き河井朝民社長、吉村商業會議所會頭及び小倉電燈會社長發起の下に學校組合事務所に於て協議會を開くもの加藤、伊藤其他の學校組合議員寺田稻本其他の商業會議所議員各新聞記者官民重立有志三十餘名開會河井社長先づ會合の趣旨を述べ序で小倉氏過日私用の爲め出京の際本問題に就き總督府要路の當局に交渉顚末を述べ終りに吉村商議會頭府民結束の必要を說き麻野氏を座長に推し具體的準備協議會に入り本問題に對する運動方法其他の熟議をなせり(大邱)

哈爾賓より 十一日 長城生

十日午後十二時哈爾賓に著し候、驛には閑院宮殿下御奉迎の爲め、日露の大國旗及び萬國旗を以て裝飾を施し市中亦各所に日露兩國旗を掲げて奉迎の誠意を致せり、風少しくありて砂塵烈しけれども、氣溫は長春附近と大差なし十二時半馬車を驅つて常盤ホテルに宿泊いたし候

◉朝鮮對大阪貿易

朝鮮對大阪貿易の十月上旬は移出十二萬三千五百五十五圓移入百零二萬七千六百零八圓にして合計百十三萬一千百六十三圓に達し結局移入超過九十萬四千零五十三圓に及びたるが一月以降の累計は移出一千二百八十萬四千百九十圓移入二千零十萬三千三百六十三圓にて累計移入超過七百廿九萬九千百七十三圓を算し居れり十月上旬の移出入重要品左の如し

品名	金額	品名	金額
綿布	四二三、二五三圓	米及籾	三一、九三三
清酒	五一、八六九	豆類	八、二八七
綿糸	三五、四八一	牛皮及水牛皮	五〇、九三六

而して金銀貿易は左の如し

品名	十月上旬	
移入金銀價	一七〇圓	一一五、六二五圓
移出金銀價	八、五三〇	五〇八、六四四
合計	八、七〇〇	六二四、二六九
移出超過	八、三六〇	三九三、〇一九

鎭南浦

▲鎭南浦人口 鎭南浦府九月末現在住內地人戶數は一三八九戶人口男二九七一女二六六五人計五六三六人にして本年四月末の五四五九人に較ぶれば一八七人の增加なり▲九月中鎭南浦貿易 九月中鎭南浦稅關通關貿易額は一六四〇四五九圓にして輸移入七九二九六八圓輸移出八四七四九一圓なり四年度九月中の貿易額六八七七八四圓に比すれば九五二六八五圓の增加を示し約三倍の貿易額なり輸移出品中主たるものを上ぐれば米一九四八六八圓小麥四四五八二圓金鑛二六二八三圓鐵鑛五八六一三圓牛皮二八五九一圓石炭五四一六〇圓肥料三〇三六圓等にして輸移入品の重なるものは石油三六八九一四圓絹織物一二七〇三圓熟鐵一二九四八圓諸機械類五〇七三八圓セメント及び石灰一五九九九圓罐叺莚三〇二八六圓爆發物三九二二八圓銅鑛石六四六七一圓煉瓦一〇九六六圓食鹽一二六一八圓等なり▲南浦水產水揚高 九月中鎭南浦水產會社の水揚高は一三九六三貫價格七一一七圓三七錢なるが主なる魚類は鯛一四九〇貫一九三七圓鰻一〇〇〇貫八〇〇圓鯢一二二〇貫六一〇圓鯛七八三貫三〇六圓石首四九五〇貫一四八五圓等なりと而し出荷先は平壤沙里院黃州兼二浦安州定州宣川等なりと

仁川

▲狩獵免狀下附數 仁川警察署に於て狩獵免狀を下附したる數は七十二名にして例年の半數に滿たずと▲大遮斷區解除 仁川に於ける虎疫は全く終熄を告げたるを以て十五日早朝大遮斷區を解除したり▲應援巡查引揚 防疫の爲め來援したる總監部巡查及び巡查補は十五日三十五名引揚げたるが此れにて應援巡查は餘す處二十名のみなりと▲松元署長巡視 十三日より仁川近海なる永宗、龍游、舞衣、靈興、大阜、德積、長峰の各島を巡視中なりし松元署長は十五日歸任の筈なりしが海上風波暴れ居るを以つて或は豫定より後れて歸任するやも知れずと▲鼠の買上抽籤 既報の如く仁川警察署にては防疫の爲め鼠の買上をなし既に開始以來二百圓以上を支出したるが十六日午前十時より警察署樓上に於いて抽籤となす由なるが抽籤は一等(五圓)四本、二等(三圓)四本、三等(二圓)八本、四等(一圓)十六本五等(五十錢)六十八本、合計九十八圓なりと

忠州

▲豫防注射 漢池洞江船艀子鮮人一名江原道文幕にて眞正コレラに罹り死亡したるに該船は防疫の混雜に紛れ忠州に入り込みたるを忠州憲兵分隊にて探知し艀子全員を隔離し糞便檢鏡中なるが時節柄特に警戒を加へ裴日憲兵分隊員半數の豫防注射を行ひたるが一般希望者に對しても實費を以て注射せしむべく忠州衞生組合にて目下勸誘中▲守備隊出發 來る十六日より大田附近平野に於て擧行さるべき第四十旅團秋季演習に參加すべき第三大隊管下各中隊は十一日忠州に集合二宮大隊長引率十二日陸路大田に向つて出發▲煙草收納 忠州特產黃色煙草は天候不順の爲め平年に比し三割方減收なるも一般にさしたる損失を蒙ることなかるべし製造業者は現物拂底を見越し買入に競爭の氣味あつて專賣課出張所にては特に收納を急ぎ島村技手數日來調理狀況視察中なるが民間乾燥の分は十日迄に吊込みを終りしを以て來る二十日頃より收納に著手すべし

洪州

▲洪州小學校 工費三千五百圓を投じて新築中なりしが校舍一棟、敎員住宅一棟、並に附屬小使室湯呑所等全部竣工を告げたるを以て來る天長節をトし盛なる落成式を執行する筈にて各係分擔を定め目下準備中▲天長節祝賀 十月三十一日祝日に郡內々鮮人合同祝賀會を南山公園に擧行することに決し會衆約二百五十名に達すべく學校落成式もあり邑內は甚だ賑ふならむと▲神保判事 在洪五年に垂んたる同氏は這回新義州に榮轉することゝなりたるか官民間に氣受甚だよかりし氏の轉任は何れも之を惜しみ時節柄送宴を廢して記念品贈呈の計畫あり本月十七日頃出發の豫定にして後任は會寧在勤稻垣判事なりと云ふ▲軍人分會射擊會 十四日土曜日戰役者招魂の爲め秋季射擊會を執行し練武の一端に供する筈▲大弓流行 本夏より鬼塚、佐下橋、藤瀨氏等主唱となり大弓練習を始めたるに官民新會員多く同好者既に十二三名に達し盛んなり▲虎病警戒 警察署に於ては海岸船舶發著所たる緑岩浦、某湖浦、蘇頭浦等に滿潮每に巡查を派し嚴に臨檢しつゝあり

大邱

▲邱安自動車停留所 邱安自動車は目下大邱安東間運轉中なるが不日安東まで延長する計畫にて十三日持主金甲淳氏は安東停留所設置場所に就き視察の爲め安東へ出張せしが聞く所によれば洛東江渡船繁雜なれば安東停留所は當分の間川向に設置すべく準備中なりと▲京釜線金若新線運轉期 京釜線金泉若木間改良工事は愈々工事竣成せしを以て十一月一日より改め良線を運轉すべく右の結果龜尾、大新の二驛を新設し現驛金烏山は廢止すべし因に南大門釜山間哩程は二百八十哩六分となり哩程より五哩六分の增加を來せり▲千果製造開始 大邱果樹組合に於ては豫て千果試造中なりしが八雲町片倉組干繭工場を借用し愈々十四日より製造を開始せり▲道路調査終了 慶北道土木係にては若木、倭館間、二等道路改修の爲めに豫ねて路線調査中なりしが此の程終了せり▲慶北海港調査 慶北道の海岸に於ける浦港中甘浦、九龍浦、浦項は總督府技術官及び道土木局にて既に調査を了へ江口にては一昨年より昨年に懸け國費にて應急的の突堤を築きしも尚永久的施設に就き調査するものあり、尚又丑山にも何等かの施設をなすべく谷道技手は江口、丑山の兩港に出張調査をなすべし

人事

▲大池忠助氏(釜山商業會議所會頭) 入京中の處十五日朝退京
▲西尾陸太郎氏(大阪商船社員) 同上
▲スコット氏(英商人)▲ホームード氏(米人) 十五日朝入京朝鮮ホテルへ
▲小原乙次郎氏(土地調查局監査官) 十五日朝退京
▲服部親信氏(京畿道警務部長) 十四日午後仁川より歸任
▲兵庫縣農學校職員生徒一行四十名 十四日夜入京旅舍へ
▲古海嚴潮氏(警務總長) 家族同伴十四日夜平壤へ
▲櫻井佐一郎氏(平壤漢城銀行支配人) 十四日夜入京山本旅館へ
▲岡本惠三郎氏(開城署長) 十五日朝家族同伴赴任

工事請負公告
一 新[illegible]地道路修築工事
此入札保證金ハ各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ京城府内ニ於テ國稅地方費府稅學校組合費年額貳拾圓以上納ムル者ニシテ二年以上斯業ニ從事スル者ニ限ル
大正五年六月[illegible]
右號會覽同此
大正五年十月十六日
京城府

平壤 栗卸
京城南大門外 池田商會 電話七五九番 振替口座二四七番

時計貴金屬指輪商
地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天讃堂

糸は尾琴屋
本絹縫糸 色三十種
絹紡糸 色三十種
藤小町糸 色三十種
羽二重糸 色十六種
極天竺糸 色二百種
美釜刺繡糸 色二百種
甲種瓦斯下糸 乙種かすり糸
はんかち糸 色四十種
絹さし糸 色四十種
糊引青竹糸 色三種
仕付け糸 各種
レース糸 各種
靜めつき糸 白
かたん糸 各種
本綿 十六入 三合 ほか
東京製
本店の糸類は不良なる品は一切取扱ひ不申候
京城明治町筋 糸細商 尾琴屋

專賣店 京城本町三丁目 前田酒店
味淋 堺 鳴尾釀

砲火閃々、雷雨臻る

滿洲機動演習觀戰記

十三日夜劉房子にて 本記 勝村特派員

▼第一の砲火

南滿北部に於ける我駐滿十七師團機動演習は十三日早朝より滿鐵本線長春公主嶺間范家屯驛東方附近に於て第一回の砲火を開きたり、予は午前五時宿舍に充てられたる范家屯驛田村車輛係社宅を出發したり打ち續く地平線の上に淡き紅の帳きちらちらと空に燃ゆ上り僅かばかりに流る風身に沁みて冷たし、やがて朝の光は平野の處々を彩取る楡、白楊、等の黄葉したる森林を照らして濃厚なる秋の繪畫を引き展べたる如し、滿鐵の草を踏んで鐵路に添ひて約半里許り北西方に向ひたり、之れ前夜長春より退却し來れる南軍の稲垣歩兵第二大隊と騎兵一部隊とは應援の爲于家窩棚より北進し來れる其の主力本隊の來著を待つて之れに合する范家屯驛の東南方平頂山の一陣地に據り一時南軍の前進を掩護せんとし其の騎兵一部隊及び其他の將校斥候を范家屯驛北西方面に出して北軍の状況を偵察せしめつゝあり一方北軍主力は長春に於ける南軍の稲垣守備大隊を撃退し直ちに追撃し十二日夜に至り范家屯驛西北新開河の線に露營し十三日早朝より行動を開始せるを以て此の方面に於て先づ第一回の衝突行はるべしと豫測したるを以てなり

▼北軍の急進

黄葉朝暾に輝く楡樹の森陰より早くも北軍の前哨隊の南下するを見受けたりしが即ち新開河西方に於てけたゝましき銃聲は野の寂寞を破つて響き渡る之れ南北兩軍の間に開かれた第一砲火なり續いて北軍の騎兵は漸次増加し南軍の前哨部隊を壓迫し此の間に於て北軍は新開河の斷崖地を越ゆ鐵道鐵路の右側に沿ひ二縱隊となり別に騎、砲、工及び歩兵一箇大隊の一縱隊は鐵路の左側に沿ひて南下し來る

▼平頂山の死守

余は南軍の斥候と共に林家屯の線より其の陣地たる平頂山に登れり平頂山は二百米突位の一高地にして中央土石を取りたる凹地あり陣地として風強の地なり稲垣少佐は此の陣地に在つて前夜以來施設したる塹壕に歩兵一個大隊機關銃二門騎兵若干とを配備して我主力本隊の到著を待てり午前九時は過ぎたり南軍の主力隊は七時三十分頃二里半を距る陶家屯を過ぎて驅足にて北上しつゝありとの情報ありたれども其前進部隊も未だ見えざるに前面の敵は益々近く迫り急を告ぐる傳令櫛の齒を引く如くなり午前九時四十分北軍の野砲兵は其の砲列を范家屯北方に敷き其の歩兵二個聯隊は八大泉眼、李家屯、徐家屯陳家屯等に展開し平頂山高地を三面より掩撃し其の中央及び右翼部隊は強大なる豫備隊と砲兵掩護の下に范家屯驛より進出前面に迫まり十時十五分より全線相呼應して益々壓下に肉迫す

▼稲垣大隊全滅

稲垣大隊長は死力を盡して陣地を固守すると雖も味方の主力部隊未だ來著せざるを以て遂に死を以て此の高地を守る事を部下に告示せり十時三十分北軍の全線劇しく突撃に移る百雷の如き吶喊の聲四方に起り汪濊たる平原の果てに響き渡る突撃喇叭の音勇ましく砂塵濛々と渦巻く間より歩兵第二十一聯隊及び歩兵六十三聯隊は松浦少將指揮の下に一氣に平頂山を占領せり此の時山上の統監部より戰鬪中止の令あり南軍の稲垣大隊は全滅の宣告ありたり

▼支那將校の觀戰

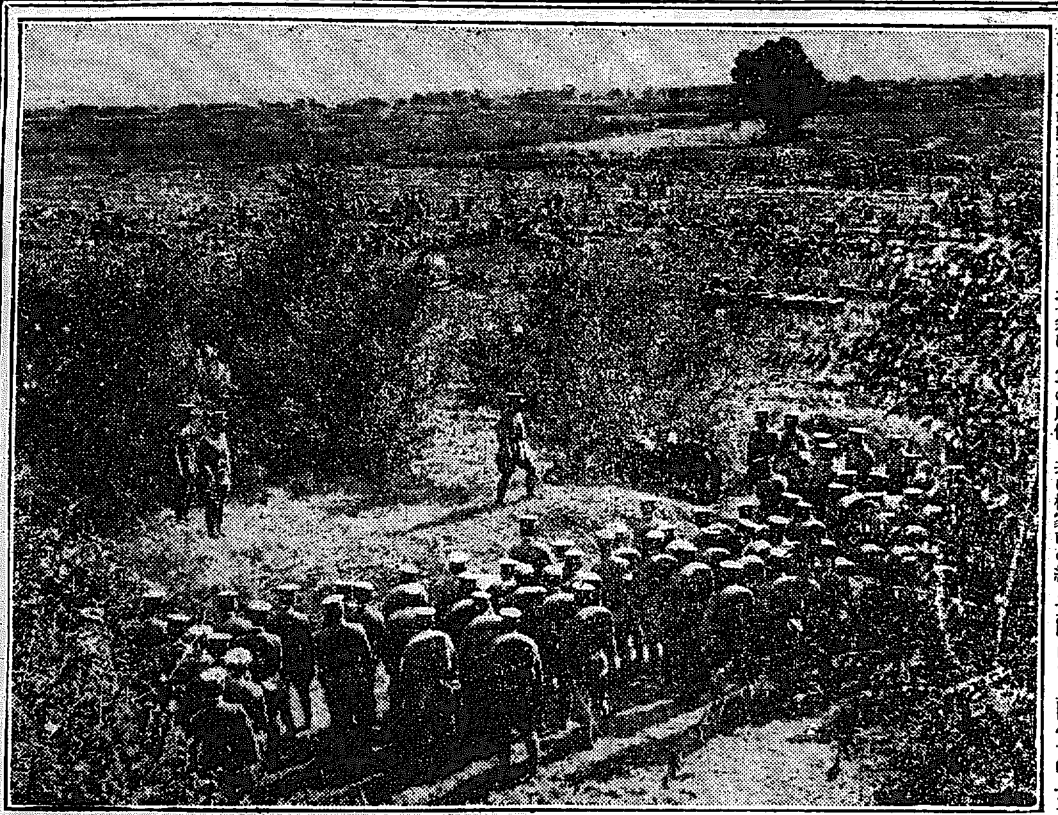
之れより前川村元帥白井旅順要塞司令官、竹本參謀本部附少佐等統監部に在りて觀戰し平頂上北方高地には孫旅長以下十餘名の支那觀戰武官は何れも白馬に乘りて觀戰し町野奉天督軍顧問少佐より詳細の説明を聽取し居たり

□平嶺山麓の大白兵戰

十六日より師團對抗假設演習に移る

―十五日午後一時本社特派員范家屯電―

十五日氣温零下四度雪少しく降る、退却せる北軍は大屯南西方平嶺山に防禦工事を施し南軍を阻止せんとす南軍は范家屯大屯との中間新開川の線に露營し午前五時より行動を始め同八時平嶺山南麓喇嘛寺前にて兩軍の主力衝突し續いて全線に亘り壯烈なる突撃白兵戰あり之にて旅團對抗演習を終り直ちに軍の編成を變更し十六日より師團對抗假設演習に移る可し軍は大屯に露營し十六日早朝北進す川村元帥は觀戰後長春へ向へり



統監星野中將の講評―劉房子附近
(中央星野中將 後方上田參謀課長)
―勝村特派員撮影―

□急に寒むくなる

仁川觀測所員の談に依れば十三日滿洲南部及び渤海の南方面に出現したる低氣壓は大いに發達し南東に進みつゝ有しが十五日早朝合併して一大中心を形成し咸鏡北道に臻りたり此れが爲めに京仁地方は密雲低く閉ざしたるが更らに滿洲方面に於ける高氣壓益々發達せる關係上北西風起りたるを以て天地陰慘にして寒氣膚を徹した此の天候は同日午後に至りて全く快復す可けれ共北西風絶へず寒氣愈々強く十六日は十五日に比し更に温度の低下を見る可しと因に十五日は仁川地方は十一度にして前日より三度の低温なりしと

▼南軍主力展開 一大遭遇戰現出

既にして稲垣大隊全滅に歸し北軍平頂山高地を占領したると殆ど同時に南軍の主力本隊は平頂山南方李家大房子と尖山との中間に在る森林の中間に其の前進部隊を現はし來れるを以て北軍は直ちに占領陣地に放列を敷き此の急進を阻止すると同時に其の歩兵は直ちに陣地を進出し尖山の線に在る敵に當る南軍は司令官佐藤少將引率の下に歩兵四十一聯隊同五十四聯隊の野砲兵一箇大隊騎兵一箇中隊工兵一箇中隊の兵力を以て稲垣大隊の失ひたる陣地を奪還せんとし砲兵の猛烈なる射撃掩護の下に一氣に平頂山高地に押寄するを勝誇つたる北軍は右翼方面に勢力を注ぎ茲に一大遭遇戰を現出し南北軍は刻一刻に接近し午前十一時十分全線に亙つて突撃す劍光日光に閃めき喊聲雷の如く一大白兵戰の修羅場を演出せり一休戰星野統監より演習に關する講評あり

支那觀戰武官(配屬區分並官氏名)

□北軍

歩兵第五十四旅々長	陸軍少將	孫烈臣
歩兵第百〇八團附	陸軍中校	李桂林
將軍公署軍務課員	陸軍中校	吉興
砲兵第廿七團第三營長	陸軍少校	關朝璽
歩兵第五十四旅副官	陸軍上尉	梁[illegible]洋

□南軍

砲兵第二十七團々長	陸軍少將	[illegible]作相
奉天軍械廠々長	陸軍上校	丁超
將軍公署副官	陸軍中校	吳文田
砲兵第百八團營長	陸軍上尉	彭上彬

▼南軍の退却

一時三十分より南軍は漸次方に退却し其の後衛部隊を以て追撃軍に當らしめ齊太院、五家屯、王家屯、腰陶家屯三合屯等を經て田家粉房まで退きたる頃天候俄に變り雷鳴夕立ありて南軍は雨中に於て屡々砲火を交へつゝ午後六時に至り南軍は劉房子驛南方に著し北軍は雨中に露營し北軍は午後六時三十分同驛の北方に著して同じく雨中に露營せり劉房子驛は一千家窩棚と稱し鐵道官舍支那人家屋共に少なく僅かに統監部付各係を收容し得るのみ豪雨時々至りて寒氣亦迫り來れども兵士等は何れも屋内に入るを得ず火を焚いて夜を徹し曉明を待ちて南軍は雪辱戰を試みんとし北軍は更に敵を公主嶺以南に撃退せんとす

□寒雨臻つて兵の困難名状す可らず

此の日降雨氣温下り落伍者病者又少からず加ふるに道路泥濘の爲め大李倒著遲く兵士等は十一時頃漸く夕食を喫するを得たる程にて演習部隊の困難名状すべからず

▼川村元帥の動靜

川村元帥は十二時四十分發公主嶺に引返へし十四日は午前三時四十分劉房子驛著看戰の上同午後長春に向ふ筈

◎黄金町の火事

十五日午前三時十五分頃京城黄金町三丁目大工職落合庄太郎方より發火し本町警察署員各常備消防永義勇消防組等出動防火し朝鮮建平家瓦葺一棟四戸の内二温突三間全燒し殘り二戸は家具を燒却し温突三間半燒にて同三十分鎮火せり損害約二百圓原因取調中

コレラ彙報

▲北米倉町に發生

北米倉町に住む金光根(二)は精神病者にて常に市中を徘徊し塵溜箱等を掻き廻し拾ひ食ひをなしゐたりしが十五日午前本町署の檢病的戸口調査の際罹病し居ることを發見し疑似患者として應急處分をなせり

▲河水使用嚴禁 虎疫續發の兆

京城の虎疫は西界洞、中林洞、蛤洞、乘町各丁目、蓊州通の如き濕潤の低地に續發しつゝあり前記各洞には細民多く居住し麻浦、東幕の流行地に對し交通頻繁なる爲め元來警戒區域なりしが、中林洞八七二番地金一采(二)は十三日死亡屍體檢案の上採檢便の結果十五日眞正と判明、蛤洞二十七番地子街李夏榮氏方下人村邨禎(五)も十四日赤痢の如き兆候ありしが檢便の結果是も十五日眞正と決定したるを以て何れも隔離交通遮斷をなせり前記の區域は西大門警察署管内一帶の蔓水の下流なる旭川に沿ひ同小川にはコレラ菌の浮游しあること判明したるを以て本町警察署にては十四日午後三時より沿岸各洞の者悉くを蛤洞の廣場に召集して旭川の汚水に對し警告を與へ同小川中には使用嚴禁の札を立てたり而して前記の各町洞に對しては十四日井戸水の使用を禁じ水道の共用栓を開放し下水溝渠には石灰を撒布して大消毒を施したり

從軍日記

南滿に於ける第十七師團機動演習を統監部に從つて

勝村長城

□十一日 晴、溫、[illegible]記命令を受取つて長春を發す

一、演習期間十月十三日より十五日迄五日間

一、演習地公主嶺及び長春間

一、配屬部隊は統監部とす

一、十月十二日夕刻迄に范家屯に於ける統監部管理部に到著するものとす

一、從軍新聞記者は白布腕章に社名を明記するものとす

一、宿舍は管理部に於て準備するものとす

但し旅宿料三圓以内とし各自出發の際支拂ふものとす

一、日々作戰に關する事項は師團參謀より指示するものとす

心得書を受取つた自分は實は今朝哈爾賓から戻つた計りだから一日休養して十三日の演習開始の日から參加する考へで有つたが兎に角先へ行つて居る方が萬事好都合ならんと其の足で直ぐ奉天行きの列車へ乘つて

▲范家屯まで 南下した、范家屯は長春から三つ目の驛に成つて居る、驛に下ると大きな見取圖が揭げて有つて吾々の宿舍は驛前の社宅だと云ふ事が直ぐに分つた、驛夫の案内で宿舍へ行つて見ると、大阪朝日、每日、滿洲日々、奉天日々、遼東新報其他二三社の特派員や通信員達がもう詰込んで居る、ほんとうに詰め込むと云つても大袈裟な話では無い、六疊間へ八九人這入つて居るのだ、一同で演習統監部を訪ひそれから自分は驛前の永沼挺進騎兵隊の勇戰死者中村中尉外一名の忠魂碑に詣でた、忠魂碑は大砲彈形で中に露國人の建てた露國文字の碑を書いて其の傍に露文で記した木札が建つて居るそれに『千九百六年二月十一日新開河鐵橋破壞の際勇壯なる戰死を遂げたる日本將校及下士の碑、ア、神よ平和を與へ給へ』と書いてある別に後藤新平男の書かれた記念碑も建つて居る露國人も流石に勇敢なる吾戰死者に對し多大の敬意を表した事がよく覗ひ得られる、午後九時頃やつと夕飯が管理部から來たが

▲茶碗も箸も 無いと云ふ始末、宿舍のお女將さんの心配でやつと夕飯を濟ます齋藤驛長からビールと果物とを贈られた、それを皆して分けて喰べて二枚宛貸して貰つた陸軍の毛布を引被つて寢る=毛布のナフタリンの烈しい匂ひが神經を刺戟して却々眠られぬ

□十二日 晴、愈々演習の當日と成つた、午前五時起床、美しく黄葉した白楊の樹の下で顏を洗ふ、氷のやうに水が冷たかつた、兵隊さんが朝飯を運んで來てくれる、飯をバケツに盛つて來たソコヘ夕刻に濟ませて、辨當を背負つて出掛ける、統監部が劉房子方面に移轉したので自分達は汽車に乘つて更に南下して劉房子驛に著す、宿舍に案内して貰ふと恐ろしいぢやない

▲支那人の家 だ、寸暇を掛けて居る内に南京虫の七八つも靴下の中へ這込むと云ふ有樣だ、とてもこれぢや堪らぬと云つた處で外に家は無し其の内に雨になつて來た劉家房子へ著く豫定の南軍は十一刻に成つても著かぬ、我々の宿舍も驛長の心配で驛の保線手詰所へアンペラを敷いて寢ろ、室内に兵士が到著する皆なズブ濡れだ寒氣は劇しい、兵士が代る〴〵火に當りに來る、氣の毒で堪らぬが入營者が十一時に成つても到著せぬので毛布の配與にならぬアンペラの上へころがつて寢るわけにも行かず駄洒落百出而も眠る事能はず午後十一時五十分公主嶺驛の食堂に眠りに行く

讀者文藝(一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽俗謠『雁』

○樣の馳走に雁風呂たて、新酒添へたい菊節句(一等) 黄海道載寧 案西 穗波

▲赤い夕日が入江に染まる 染まる先きから雁が來る 京城 朱 晩

▲雁のなく夜は心も冷ねて涙冷たい旅枕 釜山 松野 淸坊

▲雁は過ぎたに主やなぜ來ねさ 冷めた火鉢を掻き廻し 京城 步 骨

▲君が待つ門淋しい宵の 雁の啼く音が身にしみる 龍山 小草子

●平南虎疫警戒 平安南道は今日まで一人の虎疫患者發生を見ざるも其隣接せる黄海道[illegible]長は目下管内の警察署長を督勵し之れが防遏に付き努力すべき旨を懇示し且つ汽車汽船の檢疫は勿論平元街道[illegible]者の發見に努め居れり(平壤)

最近に於ては大同郡南串面崔方にて鷄二羽及び[illegible]

[illegible]

賀、野上啓治、外人五名(二等)糸田楠夫、高澤彦一、大賀龜吉、外三名、斯基登、花枝久藏、戸田政男、曾尾市太郎、山下勝郎、外二名、一瀬みよ、外二名、下井友四郎、今長哲治、孫野又二、木村れい、鈴木由月、村瀬伊三郎、有賀三村 倉田生太郎(二等)濱崎みよ、福田清次郎、王井信之助、岡崎さく、長尾[illegible]一、同ふじゑ、同ふさ子 齋藤一郎、外人一名

●暴風警報(十月十五日午前九時發)

讀者文藝課題及び募集規程

■課題 △川柳『第一』 △都々逸『美しい物は』 締切十五日 發表十六日

■募集規程 ▲用紙は端書又は半紙の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲賞品は一

天氣 ▲十月十六日 北又は西風曇り晴後(十五日午後[illegible]時發)

舊曆九月二十日 日出 六時 日沒 五時四十二分 滿潮 仁川 [illegible]

着荷廣告

六〇六號 子オサルバルサン(佛國製)

本品は各地公私立各病院にて實驗、効力確實なるは既に定評あり且他の類似品に比し品質卓越價格低廉なれば不相變多少に拘らず御注文仰付被下度此段御案内申上候也

大連山縣通九十七號

藥種貿易商 濱崎商店

●目錄申越次第送呈● 參圓八拾錢より(最新婦人用あり)

日本一パイン万年ペン

修理部(如何なる大破損も即時修繕)京城旭町二の六 東京楠松出張所

秋になり一層必要な

アルボース

純白 今回製造法改良と 直接販賣業開始

美須賀タオル 捺染

㊅ 山田晴一商會

伊豫今治町城中

花火は

京城三坂通四十七番地 鍵屋煙火製造所 電話二八七三番

葡萄酒と云へば何人も直ちに

蜂印香竄葡萄酒を

想起するは何故ぞや?

蜂印香竄葡萄酒には萬人の腦裏に徹底せる強大の特色あればなり

日く 品質精良!! 美味滋養!!

優良生葡萄酒を素とし補血強壯料を主成分として精製せる本酒は只朝夕一杯づゝにして

血を増し肉を肥やし力となる!!

賣捌元 東京本町 近藤利兵衛

●表彰された 酒屋の店員
主人大切と勤める感心な人達

京城の酒商組合は組合員協議の上三年以上の勤續店員を表彰することゝなり昨年第一回を實行し二十二名の受賞者を出したが今年も亦第二回の表彰式を十四日午後五時より京城ホテルに於て行つた表彰規程によれば三年五年七年十年と區別して表彰することに定められ居り當日の受賞者は三年以上七年迄の勤續者九名にして式場石子組合長より

◆賞品及び表彰狀を授與し追て晩餐を共にし七時頃散會した、商人が著實な使用人を得ようとすることは昔の武將が有力な部下を搜したのと同一で眞面目な店員正直な番頭を得ると得ないのとでは商略の作戰に非常な相違がある正直で勤勉な使用人があれば主人の利益は素よりのこと需要者に取つても非常な利益である京城の酒商組合が夙に此點に著目して率先此擧を實行するに至つたのは實に慶ばしいことだ殊に内地とは違つて京城の樣な所では使用人の移動も劇しく所謂

◆一期半期の奉公人根性を持つたものが多いのであるがそれにも拘らず同一主人に三年或は五年七年の長い間忠勤を擢んでたと云ふことは誠に以て殊勝の至りである

それでなければ反氣を出して遂には主人の品物を胡麻化したり賣掛代金の費込をやつたり夜逃をしたりなどすることになる一體商人の傭人が雇主に對して抱く不平と云ふものは月給が廉いとか食物が惡いとか乃至主人や主婦の性質が氣に入らぬと云つたやうなものが多く殊に酒商の店員などにありては酒に縁の近い丈に茶碗酒の味も覺わ年頃の若者とて元氣に委せ男一疋此家許りにお太陽は照らぬと云謀

右上より横山、中島、大本、永田
右下より蒲池、渡邊、金子、金田

◆主人と云ふ背景が あつてこそ何々店の番頭さん御用聞きと信用されて居るのを自分の信用の如く自惚れ資本の問題など前後の分別もなく獨立して見ようと云ふことになる其他却々數も限りもない程に誘惑の手が纏つて來るのであるそれをしも何ほ物ともせず努力奮闘して組合十軒の酒商の内で六十六人の使用人の内から選拔された以上の人々は偉いものである虚言を吐くのが商人の習慣と思はれたのは十年も二十年もの昔のことでこれから先は臍一本で死者狂に働けば

◆正直の頭に神宿る である稼ぐに追付く貧乏のあらう筈はない同日の席上で組合員堀尾氏の祝辭に需要者は廉くて立派な品物を欲しがつて居る故に安價で立派であれば需要者も好んで之を買ふとするものである若し諸君が主人の爲に陰陽なく體を安くして働けば主人は之を高價に買ふことになるのである、『身を捨てゝこそ浮ぶ瀬もあれ』とは使用人たるものも亦以て座右の銘とすべきものであらうと云つて居た當日勤續店員名左の如し

勤續年數七年一ヶ月	山邑支店員	大本龍王
同 五年一ヶ月	本莊店員	中島盛太郎
同 五年六ヶ月	首藤店員	渡邊勝太郎
同 三年九ヶ月	山邑店員	横山奈市
同 三年十ヶ月	大塚店員	金田要吉
同 四年八ヶ月	三巴店員	金子數一
同 四年七ヶ月	三巴店員	永田信吉
同 五年六ヶ月	首藤店員	蒲池[illegible]
同 四年十一ヶ月	首藤店員	鬼塚義雄

日曜漫畫 澁柿物語 =めちや吉畫=

1、はれ子さんは北門へ遠足して、何处かで柿を一と枝貰つて來ました、美味さうだから隣家の茶目坊の所へお土産に呉れました。2、茶目坊の好きな好きな柿ですから、直ぐかブリと一と口嚙んだところが、口の中一面に皮が張つたかと思ふ程に澁いので、大吃驚『アアこんな澁柿はイヤだい！』と喚べきしながらお庭へ捨てゝしまいました。3、母さんはそれを持つて隣家の伯父さん家へやりました。伯父さんも伯母さんも喰べて見ますと澁いので額を蹙めて今度は『はれ子の奴に一ッ喫はせてやらう』と持つて來ました。4、はれ子さんは自分が茶目さんにやつた柿とは知らず『まあ澁い柿だこと、何處からこんな柿を持つて來たんでせう、まあ失禮な――』と獨りで怒つてゐました。

平壤神社大祭

平壤神社秋季大祭は十月十六、七日の兩日擧行の豫定なるが祭典順序は十六日午後六時本社前夜祭同八時櫻神社同上十七日午後一時本社例祭執行尚餘興としては素人相撲寶探し等を催すべしと(平壤)

◎全北日々、元山毎日の押收 十四日の全北日日、十三日の元山毎日兩新聞は治安妨害として押收さる

◎純人蔘精腦の發賣擴張 京城長谷川町朝鮮蔘業會社賣所にて發賣の純人蔘精腦は前專賣局技手朝鮮總督府技手藤久左衛門氏が多年苦心研究の結果作り出したるものにして其効能顯著なる由にて伏見宮家宮城内大臣府及び陸海軍病院等より續々買上の光榮に浴し居れり

神社とお寺と教會

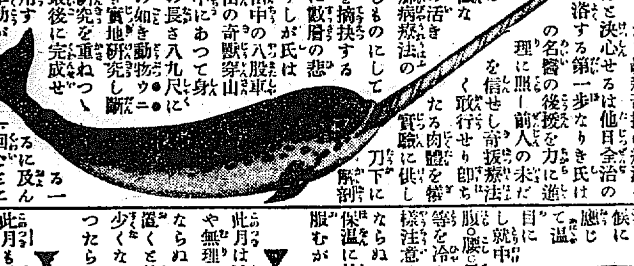
○西本願寺(若草町) 十六日午後二時より婦人例會を開き梅山、山本兩氏の說教あり
○開教院(本町三) 十五日午後七時より日曜教會あり
○東本願寺(南山町) 十五日午後八時より日曜講話(信友會)あり

―△會のいろ〳〵▽―

□論山の教育品展覽會 論山公立普通學校にては來る十月十三日より十五日まで新築校舍に於て教育品展覽會開催中なるが新築落成記念祝賀の意味にて朝鮮各道公普校より出品したる學藝品多く兒童學藝會及び遊戲、體操、蓄音機、幻燈及び運動等の陳列あり

解剖よりも悲壯慘憺たる活た肉體の實驗
肺病全治の秘密眞相

▲肋膜氣管支患者も助かる 肺病患者に同情すとは萬口一齊に稱ふる所なれども自身が肺病に呻吟したる人ならでは眞の温かき同情が肺底より湧き出づるものにあらず又肺病藥とても患者が信頼するに足る第一必要の資格は全治の事實を有するものたらざるべからず吾人は紙上に安原尙親氏が肺病全治の事實を報告し患者は先づ氏が全治實驗の秘密眞相の告白に耳を傾むけられよ世上往々事實を虚構して患者を誘惑しつゝある賣藥者流あり血あり涙ある安原氏の前に果して何の顔色ぞある……原氏は七年前閼らずも肺病に罹り咳嗽、喀血、胸痛等あらゆる病苦に苦せられ燈火の滅せんとするが如き運命に向はんとする時●知人は縞蛇黑燒、猫の黑燒、毒蛇酒、スッポンの生血、鰐の腦漿甚しきは云ふに忍びざる方法を敎へて吳れたされど氏の生家は二人の大醫を出せし名家にして氏は斯の如き平凡なる療法に耳を藉さず大勇猛心を奮起し學理の元則により生死を賭したる嶄新奇拔の療法を實驗せんと決心せるは他日全治の光明に浴する第一歩なりき氏は令弟等の名醫の後援を力に進歩せる學理に照し前人の未だ試驗せざるを信せし奇拔療法にても遺憾なく敢行せり即ち氏は自己の活きたる肉體を犧牲として肺病療法の實驗に供しつゝありしものにして刀下に五臟六腑を摘抉する解剖よりも更に慘憺の悲絶壯絶なりしが氏は更に富士山中の八股車前草、深山の奇獸穿山甲、永瀬中にあつて身長二丈角の長さ八九尺に餘る妖怪の如き動物ウニコールをも實地研究し斷腸の苦辛研究を重ねつゝある折柄最後に完成せる一可藥を服用するに及んで空前の卓効が一回ごとに現はれ病苦日毎に減じ約三ケ月餘にて全治し今日では體量十八貫目もありて人に美望さるゝ強壯體となれり全治後の氏は我身を捨て人の痛さを知れとの諺の通り同病者に滿身の熱誠同情を以て之を與ふるに肺病氣管支病肋膜炎に皆奇効ありて既に數千人の患者を救濟し來れり氏は誠の涙と同情の血の結晶たる肺病全治事實を編述し希望者へ無代郵送しつゝあれば患者はハガキで東京市日本橋區吳服町二安原尙親氏へ照會されよ最善唯一の確き活路なり



母子健全で安産の出來る 姙娠中の養生

▲姙娠と不養生 姙娠は病氣ではないが、養生を怠つた爲め流産難産の不幸に遭ひ、又は生れた子が弱く、時には母子の一命に關る樣な事もあるから姙娠中は一日も養生を忽にしてはならぬ、依て左に其概略を述べる事に致します。

▲一月目の養生 姙娠したからといふて、急に其生活法を改めるのは却つて害になりますから、第一月目には身體に異狀のない限り、無理と思ふ事の他は凡て其儘平素の通りにし、只少しく加減する樣にすれば夫で宜しうムいます。

▼二月目の養生 此月に入ると神經過敏の姙婦は種々の症狀を現す故、特に食物は消化し易い物を擇び衣服は時候に應じて温目にし就中腹、腰、足等を冷さぬ樣注意せねばならぬが、夫には保温に特効ある中將湯を服むが一番安全です。

▼三月目の養生 此月は流産の危險最も多い故、旅行や無理な動作や仕事は固く愼まねばならぬ、又惡阻の起るも此前後で棄置くと營養不足の結果死に至る事も少くないから、若し其樣な徵候があつたら、早速中將湯を服むが宜い。

▼四月目の養生 此月も前月同樣の養生法を守らねばならぬが、天氣の快い日の散歩や近距離の處を電車に乘る位は差閊ありませむ、それから姙婦は精神の感動が鋭いもの故感情を昂奮させる小說や演劇を觀るのは絕對に禁物です。

▼五月目の養生 此月になれば流産の危險は減じるから異狀のない限り少し位い旅行はしても宜しい、俗に謂ふ岩田帶をしめるは此月からですが、これは胎兒を正しい位置に保ち且餘り肥り過ぎぬ樣にする外、腹部を冷さぬ用心です。

▼六月目の養生 流産の危險最も少きは此月故旅行するなら此月を選ぶが宜い、それに姙娠中は局部の分泌物多く陰門炎●膣加答兒等に罹易いから隔日位に入浴するか又は宮胜散の微温湯で腰湯を使ひ局部の淸潔を保つが肝要です。

▼七月目の養生 此月になつたら旅行はせぬ方が安全ですが、小人數の臺所仕事や一二時間の郊外散歩は至極宜しい、そして消化易い食物を選び、便秘せぬ樣に注意し、初産の婦人は一應專門醫に胎兒の位置を診て貰ふが安全です。

▼八月目の養生 浮腫症の來るのは此月からで、此浮腫症の爲め産をせずに死ぬ者も澤山あります、下肢に來るのは血の循環をよくする中將湯を服めば大抵治るが、腰から上に來るのは危險なもので醫師の治療を受けねばならぬ。

▲九月目の養生 此月になると運動不足から血の循環が惡くなる結果身體が倦怠なるもの故、運動の傍ら中將湯を服み、尙一層嚴重に養生法を守り、特に便通を能くせねばならぬ、此月は殊に腸や膀胱が膨れ、爲めに胎兒の位置が變する恐があります。

▲十月目の養生 此月は臨月で養生法は前月と同樣ですが姙娠中を通じての理想的養生法は持藥に中將湯を服む事です、此劑は專門大醫の賞讃せる産前産後その他婦人病一切の最良藥で到る處の店に有升が本舖東京日本橋通四村津順天堂本店及び大阪堺筋大寳寺町津村順天堂支店には其々症狀に適した加減藥があり市內は無料配達す尙一層詳しい産前産後の攝生法及び心得等は斯道專門の醫學士天本治先生の著された本舖發行の『婦人衞生手引』に記して有升が御希望の方は郵劵二錢封入御申込あれば無代進呈致し升。

創業十年

記念特製大山たびは
創業十週年を十年愛顧の江湖諸君と與に記念すべき最善の努力を以て謹製せる逸品にして
赤誠凝りて玉となれるもの
即ち是れ

製造部長大山寅九

記念特製大山たびの特に顯著なる改善を施ぜる三大要點
●紺色の堅牢無比
●耐久力の倍加
●恰好の優美
弊社が滿腔の誠意をこめたる本品が斯る空前の歡迎を受るは弊社一同の欣幸に堪へざる所に御座候再拜

販賣部長大山誥太郎

◎營業案內申越次第送呈

大山たび
コール天たび
冬帽子
製造元
釜山本町三丁目
大山合名會社
振替京城九一一番
電略(オ)又ハ(オヤマ)

宮本武藏

第百八十八回 桃川如燕口演 浪上毅三郎速記

曉雲二天の兩名は海上郡銚子へ參り當所名代の觀世音に詣で又圓福寺と云ふ名代の寺がございますから是へも參詣爲し、豫て噂に聞いた犬吠岬へ行つて見やうと、來て見ると成程海へ突出した恐しい難所でございます、荒浪岩を嚙んで物凄くはあるが雄大なる其風景得も言はれず、是より又々元の道へ取つて返し當國名代の筑波山へ參詣をいたして、彼處より奧州路を指して道を急ぎましたが、水戸から奧州へ出ますには是非共磐城の平へかゝるさうで、それより奧州の水澤と云ふ處へ入つて參りました、奧州は五十四郡と云つて卸々廣い處でございます、水澤は一萬石の伊達伯耆の領分でございます狹いが繁華な處で、宿へ入つて參ると

曉『何うだ二天始めて來たのであるが水澤と云ふ處は卸々繁華な處だな』二『手前も始めてでございますが卸な宜い處で』曉『今夜は是非共此の水澤へ泊らう、泊ると極つたら町を悠然見物して行う』と話しをしながらやつて來ると、右の方に大きな道場がございました、折から稽古日と見れて竹刀の音がする、お面お小手といふ聲も聞ねる 曉『二天、劍術の道場ではないか』二『左樣でございます』曉『未だ早いから少し道場を見て行う』と此處へ來て見ると七間四面もあらうかといふ立派な道場、表の招牌を見ると一刀流劍術指南赤川勘左衞門と書いてある、武者窓から覗いて見ると六七人の門弟が頻りに稽古をして居ります、曉雲見て居たが 曉『オイ〳〵二天、見なさい、向ふから出て來た奴は恐しい丈の高い奴だ、殊に色は眞黑、宛然鍋の底を見たやうな奴だな、ヤー此方から出て來た奴は恐しいチンチクリンだ眞蒼な面をして居る、あの黑と靑と立合ふが何方が勝つな』二『そんな惡口を被仰るな』曉『何に構ふものか、お前が見たら判るだらう、何方が勝つか、俺が見た處では彼の丈の低い方が勝つだらうと思ふ、ソラ見なさい靑が勝つて黑が負けた、ヤー今度出て來た奴は恐しい赤い面だ赤くて圓いから赤丸面とでも云ふかな、あんな腰付をして居ては此奴の腕前も知れたものだ』と頻りに惡口を云つて居ると、聞いて居た門弟共

○『オイ〳〵先刻から表の武者窓の處で二人で面を突込んで惡口を云つて居るせ、貴公のことを眞黑だから鍋の底見たやうだと云ひ、中村お前のことを赤丸面と云つたせ』中『何に甚いことを云ふ奴だ、中へ引張り込んで引叩いてやらうか』○『それが宜い』とドカ〳〵と五六人表へ出て來たが二人を押へて ○『ヤイ〳〵貴樣達は何んだ、最前から默つて聞いて居れば惡口のみ申し居るが、第一窓から覗き込むとは失禮だ、貴樣達は何だ』

曉『イヤ俺は江戶の者で儒者だ』○『何に儒者だ、儒者と云へば人に文字を敎へ其の理解を說いて聞かせやうといふ身分ではないか、それに年甲斐もなく我々を平凡だの取り得がないとは何だ、平凡なればこそ稽古をして居るのだ、上手ならば道場を開いて他人に敎へて居るは』曉『お前さん方が上手であれば上手だと云ふが平凡だから平凡と云つたに不思議はあるまい』○『此奴愈々勘辨ならん奴だ平凡だから平凡だとは何だ、さア中へ入れ、一本立合つて引叩いてくれる』と無理に道場內へ引入れた、宮本二天は其處へ出で 二『ヱ御覽の通り此の人は極老でございます、若し立合て怪我でもいたすといたし方がございません、私は未だ若うございますから貴下方に打れた處で幾分か堪もございませう、此の老人を打うといふならば私を代りにお打ちなすつて下さい』○『ツーン然うか、貴樣が身代りに打れたいと云ふならば打つて遣はさうから、道場へ出なさい』二『ヘエ、宜しうございます、私がお相手をいたしませうから何うか竹刀をお貸し下さる樣』と一本の竹刀を借受けそれを提げて宮本二天道場只中へ進みます。

踊へるねしより 木村屋パンの 京城みやげが待ちかねる 市內に名のパン屋あるも當店と何等關係なし(京城明治町 電話一六七○)

毛皮なめし並に仕立 鳥獸剝製調進販賣鳥毛類高價買入れ 萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本 京城本町二丁目 樽元商行 電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

皮黴科 皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器病 機能障礙 入院隨意(診察夜九時迄) 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目(元二丁目) 佐藤醫院 (電話一一七三番)

十月十七日火曜 舊九月廿一日丁癸 本命 一白 北陸大安

▲一白● 頭押しに來る事有日新事見合西方は吉の刻北▲二黑● 服裝用にあわぬ事有る日新事手控へ色事は吉女散財を防がるべし▲三碧● 有效の日轉居開業入學名弘求職出張の件縁組印刷業大く繁昌▲四綠● 慶賀の日轉居旅行入門名ア求職探錢婚姻縁談船舶業等萬吉▲五黃● 信仰ぶる新有日新事手控錢事は吉女子は心を美に!たるべし▲六白● 悅樂の日轉居開業等萬吉女子の縁組を落はれ立身を爲す大いに振ふべきの日也▲七赤● 貯金益大の日轉居行商入學名弘め婚禮物外取引な好ろ等皆吉物に勝の日▲八白● 夢のやふな事有日新事手控錢事は吉女子は利さんれぬやふ用心せらるべし▲九紫● 氷炭相入ざるが如き事有日新事手控舊事は吉喧嘩議論を謹まるべし

〈演藝案內〉

浪花館 明治町 電話二六〇 ◉東都女流浪界の大關 桃中軒桃子(改め日の本三都子)嬢來る ○いよ〳〵十月十四日より 每夜讀物▲堀部安兵衞生立(武雄)▲學生失敗(桃右衞門)▲△黑田武士母里太平(竹田伯猿)▲△長洲萩の夜嵐 村上喜劍(日の本三都子)

壽座 京城壽町 電話五七八番 十五日の狂言 前 天保水滸傳 笹川花五郎 中 艶姿女舞衣 酒屋の段 切 壇浦仙蝶軍記 一の谷より陣やまで

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 十月十四日より秋季特別大興行 ○實寫 戰後の安南 ○滑稽 [illegible] ○同 △米國アメリカンフイルム會社傑作 ○活劇 第二彈 全二卷 △日活 [illegible] ○實録 忠臣藏 全十二卷 [illegible] ○餘興 少女浪花節 [illegible]

◎十月十六日より同廿二日まで **臨時特別興行** 日本奇術應用水藝の元祖 **吉田菊五郎一座** 大水藝大魔術數番

有樂館 本町一丁目 活動寫眞…… 舊劇 **松平外記** 全四卷 千代田城內武士道の精華 ▲本興行に限り◉特等五十錢◉一等三十五錢◉二等二十五錢◉三等十五錢 ◉小人各等共十錢 但從前發行の入場券併に御招待券共當興行中は御斷り申上候

御成座 本町 電話一九一 五日目狂言 前 義經千本櫻 中 大序 佐賀與より道行 阿波鳴戶 [illegible]

有樂館 日本活動寫眞株式會社特約 本町一丁目 電話二六六 ◎十月十六日より同廿二日まで水藝應用の大魔術と活動寫眞 ○吉田菊五郎一行 [illegible] ▲活動寫眞 松平外記(全四卷) [illegible] 入場料特等五十錢一等三十五錢二等廿五錢三等十五錢 本興行に限り從來發行の招待券入場御斷

黄金館 電話二八五二(階上) 二六三七(階下) 天然色活動寫眞株式會社京城代理店 朝鮮一手代理店 十月十一日より ▲喜劇 百非物語 [illegible] ▲實錄 忍術太郎 全三卷 [illegible] ▲探偵活劇 アルデンの寶石 [illegible] ▲新派悲劇 女の鑑 全三卷 [illegible]

謹近火御見舞 岡本酒造場京城支店 京城黄金町三の二九 電話二七三四番

謹近火御見舞 建築業 中村長吉 京城若草町八番地

謹近火御見舞 諸印刷業 大盛堂印刷所 京城黄金町三の二九一番

謹近火御見舞 麵のれん めしや 一の瀬 京城若草町通

謹近火御見舞 池部義雄 京城若草町八番地

肋膜炎に病む方に
◉水がたまつて苦しむ人 ◉水がたまらなくても苦しむ人 ◉ロクマクエンにて永らく病む人は淡色の液がたまり、液の中に血が交り膽汁がたまり、呼吸をすると胸が痛む、咳嗽が出る、動くと呼吸が困難になると云ふ隨分難儀な病氣である此の病氣を速く治して丈夫にならぬと世の人々の最も恐れて居ります肺病に成り易いのです未だ此の病氣に良く效く良藥がありません東京府大森新井宿中江榮宛ハガキにて御申越あれば是迄實地服藥の上最もヨクキク藥を自宅治療問答書を同病に惱む方に郵代で差上ます

流經新藥 レスノリン 月經 閉止經過四五ヶ月以內ニ應用ノ目的ヲ達ス 其他月經不順ニ特效アリ 流經作用ノ試驗 一週間分一圓 說明書送呈 振替大阪一五三〇番 發行所 常盤藥院

衞生必携品 ルーデサック A十個四十錢 B十個六十錢 [illegible] 引郵券代用一割增 振替京城三二七番 京城黄金町 山田文殊堂藥房

長壽靈品は ヨーグルト 京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一〇四番 荒井の牛乳 滋養・健康の母

胃病良藥 太田胃散 ◉飲過ぎ食過ぎに妙なり 定價十錢廿錢卅錢五十錢一圓 本舖東京吳服町太田信義藥房 ▲全國到る處の藥店に販賣す

七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液 小壜二十錢 四十錢
今東京で大評判の白美の元素色黑き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる 全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す 東京和泉橋際ゲンソ液本舖 松本商店

最上醬油
特許 機械製 ほまれ味噌
絕對的品質本位
鮮滿釀造界唯一の名譽
於朝鮮始政五年記念共進會物產
金牌受領
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社 電話七一五番振替京城一七四番
京城出張所 電話二四五番振替京城二五三番

朝鮮特產
人蔘界の大王 純人蔘精腦を召上れ
◉精力忽ち旺盛となり疾病に對する抵抗力を強大にす
主治效能 (內用)▲精力虛弱(生れ付虛弱○精神過勞○記憶力減退)▲老衰(心臟衰弱○性慾衰弱○視力減退)▲腦病(腦貧血○目まひ○立ぐらみ○頭痛)▲胃腸病(下痢○便秘○胃擴張○腸カタル)▲婦人病(白帶下○月經不順○ヒステリー)[illegible] (外用)▲火傷▲切傷▲打撲傷▲神經痛 [illegible]
◉本劑の奏效絕對に確實なるを普及する爲當分定價の二割引
正價 內用十五人十日分 金七十錢 / 同二十五人二十日分 一圓四十錢 / 同三十五人三十日分 二圓十錢 / 同六十五人六十日分 三圓八十錢 / 同九十五人九十日分 四圓五十錢
京城長谷川町五八 朝鮮製藥專賣所 振替京城三八一〇番

若者の矜は皮膚の健康美
清爽の氣に滿ちた秋の季節は潑剌たる若者の生彩ある皮膚の健康美を發揮して陸上に又水上に
品質本位 花王石鹸の効果が謳はれます
長瀨商會 [illegible] 代理店 [illegible]

汽車 京城 南行 北行 [illegible]

京城日報

十六日朝刊 夕刊と合せて八頁

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

第二版

露國の我國に對する兵器及び軍需品の新注文は目下全く中絶の狀態に在り、されど戰局の前途は容易に終國が更に多額の大藏證券を…か或は其他の方法に依り資金供給の方法を講せむか露國政府は引續き新注文を發す可き意嚮なり、而して露…きは殆ど九牛の一毛といふも敢て過言にあらざるが如く資金の供給さへ得れば其利子又は手數料の如きは如何に高率なりとも敢て顧慮する處に…の資金に充つ可しとは彼我の間に默契若しくは非公式の交渉は整ひ居たる筈なれど國際上の案件は殊に現今の如き戰時の場合にありては明確な

▲非公式の交渉と 云ふが如きは何等の効果あるものにあらず而して露國政府の現狀は先に發したる注文品にして已に受領せる分に對し得たれば…なり居れる注文品の支拂を差向くるは寧ろ當然の次第なり此點に就ては論容す可き餘地なしとせず、我國が

▲新注文の杜絶す る場合…今後我國に對するには之等の全部を米國に於て引受ることゝなる可く今や同國の製造者は…億弗の多額に達し其内四十億弗内外を東洋及び南洋方面に輸出し其他は殆ど悉く之を歐洲各交戰國に向け其主要なる者は兵器及び軍需品なるに察すれば交戰國が如何に多額の供給を米國に仰ぎ…は當然東洋方面に來る可く我國の如きは最も多大の壓迫を感ずるに至らむこと明なれば今日より豫め之に對する覺悟を以て諸般の設備を爲し置くの要ある可し（米當局者談）（東京）

內鮮人の同化（一）

高義駿寄

抑も我が內鮮の併合は國家の併合たると同時に民族の併合なり。內鮮人は本來同種同根にして暫くの間國家及地理の名稱を異にし分家制度を取り居たるも併合に依りて是を撤去し始めて本元に還歸したるものにして彼國家の强弱に由り征略せられ併合したるが如き關係とは大いに其趣きを異にす。同種同根の民族が何時迄も國家的名稱を異にし同祖先の道德を忘れ兄弟共利害を相爭ふが如きは甚だ不自然にして今日の文明は到底斯かる背倫非網を許すべきにあらず。此擧に出づるは天理上當然なる順序にして別に怪しむを要せず。然るに或は併合を目して專ら大和民族發展の爲めなりと稱し又は一に朝鮮民族の爲めに計れりとなすものなきにあらざるも斯の如きは何れも局部的偏見たるを免れず、要は內鮮兩民族が世界の大勢に促されて、我一家的民族の共同幸福增進に臨み、且つ世界的觀念の自覺に由り、世界的地位に各其の一歩を進めたるものと見るを至當とす可し。而して鮮人は憐れむべき國情に死して更に新たに光榮ある國民として活き、內地人は偏狹なる地方的思潮を脫して世界的に進化したりと云ふべし、故に今日は已に大和民族に限られたる日本にあらず、滿鮮蒙は勿論遠くは歐米人種迄をも包含したる新日本ならずんばあらず。

顧みるに我國三千年の歷史は光榮は即ち光榮たりと雖も吾人の更に將來に於けるより以上の光榮あるを思はゞ現時は僅かに一地方的に止まれるの觀なくんばあらず。吾人は此聖代に於ける國民の一員に列せられ無上光榮の創造者たる任務を自覺せば我等の生活が如何に意義あり如何に貴重なるかを感ぜずんばあらざるなり されば吾人は時勢の進運に伴ひ大局と共に推移發展せんには先づ我內鮮人の同化を促進して以て國民的結束より固めざるべからず。由て余は聊か之れに對する卑見を述べんとす。

朝鮮の古城郭（七）

八木奘三郎

（四）歷代城郭の變遷（承前）

（ロ）鳳山郡の土城（續）

已に一方に斯る例あると同時に古代漢族が朝鮮を征せし頃は、別に戰術戰法に通せし敵兵なく、又大軍を率いて來り攻むるもの稀れなれば、其城を小にすると共に、形狀の如きも特種の風を示せしことなかりしならん、唯だ樂浪郡治の根據なる平壤城の如きは其審要を修理して壯大に築きしならんも、他の縣城は方形にして規模小なるものと見て不可なからん。

（ハ）益山の箕準城●●● 朝鮮に於ける最古の城郭、即ち樂浪、帶方時代の築城と位置形狀とは前條說く所に於て略ぼ判明せしならん、されば右に繼で三韓、三國時代の分に移る筈なれども、猶其以前に論ず可きは益山の箕準城なる可し、此城古來異說なく又確證もなしと雖も、世人一般に信せらるゝ點は依然たる可し、然れども萬一當時斯る石城ありとせば、其築城は寧ろ朝鮮側の方發達せしが如く、又必ず併せ記す可き必要ありと謂はざるを得ず、予は此城を以て城郭沿革史の上より觀察して遙かに後世の築造と認むれども、他と併せ論ずるよりは特に取り出でゝ記する方讀者の注意を惹くに足る可しと信じ本節の終りに於て先づ此箕準城を論ずることゝなせり。

箕準、衞滿の關係は史記、前漢書等共に之を載せず、後漢書、魏の條及び三韓の記事中に至て初めて其事見えたり、今參考の爲右の文を擧ぐ可し昔し武王、箕子を朝鮮に封ず。（中略）其後四十餘世、朝鮮侯準に至り、自ら王と稱す、漢の初め大に亂れ、燕、齊、趙の人、地を避くるもの數萬口、而して衞滿準を破つて自ら朝鮮に王たり、國を傳へて孫右渠に至る云々。

又三韓の條に曰く。

初め朝鮮王準、衞滿の爲めに破れ、乃ち其餘衆數千人を將ひ走て海に入り、馬韓を攻めて之を破り、自立して韓王と爲る、準後に滅絕し、馬韓人復た自立して辰王となる。

此記事は非常に輕視する人と重視する人とあれども、今日他の資料缺けて傳はらざる以上は、大略事實に近きものと見て不可なからん、而して後漢書には單に馬韓と云て其地點を指さゞれども、後世朝鮮の記錄と古傳とは共に全羅北道益山の地たることを云て疑ふものなく、隨て其他の山城を箕準城と稱せり、今其例を一二擧ぐ可し。

文獻備考輿地考の部二十二卷に曰く。

益山彌勒山（在北十里見礪山）南曰龍華、上有箕準古城、南有將軍峰、有資可容油數斛、俗稱箕準燕臺云々。

東國輿地勝覽、益山郡の條（卷三十三）に曰く。

本馬韓國（註に曰く、後朝鮮王準、箕子四十一代孫也、避衞滿之亂、浮海而南至韓地、開國仍號馬韓）至百濟始祖溫祚王、幷之、自後號金馬渚、新羅神文王、改金馬郡、至高麗屬全州云々。

黃海道を縫うて（七）

對の子生

△耶蘇教の大普及

西鮮地方は一體に耶蘇教の盛な處だと聞いてゐたが事實は豫想以上で何處の邑內でも氣の利いた建物だと思つて見ると其れは必ず教會堂である、幷して此の教會には一堂毎に學校が附いてゐて大勢の鮮人子弟に宗教的に教育を施してゐる。黃海道內に幾何程の教會があり、また其れに附隨の學校が何程あるかは判らないけれども自分の通つた邑內には少くとも二個若しくは三個以上の教會があつて其れ〲相當の信者を持ち且つ盛大にしてゐる。子弟も尠くない樣である。殊に此の邊の根據地と目されてゐる載寧の如きは邑內を擧げてクリスチヤンで日曜となると各戶共業を廢して安息する爲其の日は總ての機關が停つて日用品ですら整へることが出來ぬさうである。自分は日曜日の載寧を見なかつたから其眞僞は知らぬが兎に角道內に教會の多いことゝ信者の尠からぬことゝは慥かに事實で其の根底の牢乎たるものあるには一驚を喫せざるを得ない。

△私學と國民教育

處が其の信者中には眞に基教を解せないものが多く、また鮮人牧師などの中には常識に乏しい者もあつて之れ等が時々妙な議論や變な行動を敢てするのは厄介至極である。學校などでも斯んな手合が關係すると往々國民教育に合致せぬ教育をやることがあるさうだが、其が將來に及ぼす惡影響を考へると輕々に看過することは出來ぬ、尤も當局では此の點に留意して絕えず意志の疏通を計り總督府の方針を徹底させることに努めて居るが國民教育が如何なるものやら知らぬ手合に引つ掛つては何とも早や始末に了へぬ。之に就いては色々見聞した事もあるが其れは他日に讓るとして新私立學校規則の實施期までには未だ十年の歲月を俟たねばならぬと思ふと何だか氣倦くてならぬ感がある

△僧侶神官へ希望

其れは扨て置き教會堂は斯くの如く到る處に設置され宣教師や牧師は隨所に在住して鋭意布教に努めてゐるが佛教や神教はトント振はない。振はぬといふよりは布教せぬといふのが至當で自分の通つた地方では寺院や神社と覺しいものは唯の一つだつて見付ける事が出來なかつた、之れでは地方在住の日本人は死むでも經文一つ誦して貰ふ事も出來ねば生れても御祓ひ一つ受けることも出來ぬ。地方在住者だつて自分の樣な無宗教者ばかりでないから此の點に就ては定めて苦痛を感じてゐるだらう。一體坊さん抔は鮮人教化が本務だと云ふに華な所や便利な場所許りに蝟集して啀み合ひなどに騷いでゐるのは不都合である。幷して御布施の多寡を勘定したり、信徒の奪ひ合ひなどに馳け廻つたりする樣な不樣な事をせずとドン〱田舍を巡錫して浮び得ない善男善女を片つ端から濟度して行くがいゝ、今日の朝鮮では何處に行つたとて坊さん一人を饑へさす樣な處はない。

雜林同人會詠草

御歌所寄人井上通泰先生特選

甲 夏樹 佐々木信一
水まけは庭の八手のつやゝかにひかるもすゞし夏の夕ぐれ

乙 夏樹 白石賢畿
神さぶる槻の大木のかげにむれてあめ祈るなりからの里人

同 佐々木信一
風かよふ門の槐の下かげにまゆをになる女つどひて

降
さまぐ〱の人うつり來て市中はとなりわらびのむづかしきかな

日報詩壇

○中秋觀月 木田芳洲

雁背雲晴玉鏡圓。清輝如雪皎無邊。
樽酣倒南樓酒。露冷雞鳴夜天。
桂子紛飛夜檻寒。高樓對酒有餘歡。
輝皎皎使人醉。萬里澄空月一團。
碧雲萬里月當頭。新霽恰逢三五秋。
標清歡惜良夜。人聲徹曉幾樓。
月上東山皎皎明。芋軒把酒賞心傾。
須更向江樓酌。千里金波縮在觥。

評曰 首首洗煉、明淨如月、點塵不侵

中原南天棒老師新著
一喝禪
四六判布裝全一冊 著者揮毫（掛軸用）肖像挿入 著者最近
奪命の神符握り法窟の爪牙を咬み鳴らして宗匠の驗定を叫び入りて學人に接するや、捧を行じ喝を下し惡辣の禪機を開し命根を斷絕せしむるもの我が南天棒老師也、今や宗風地に落つるを悲慣し血滴々の菩提心を吐却し佛教の眞意義、禪の眞諦、悟入の捷路、樂天の玄妙を自得せしめ一喝「大悟却迷」の眞理を大喝說破せられ言々句々爐々の焔を發す、一讀吾人の心胸に大道坦々たるを迎ふべし、敢て是を奨む
定價金九十錢 送料十錢
京城本町二丁目 電話二五七三 大阪屋號 振替六四八六

健長寺管長菅原時保老師新著 禪門法話

數學三大講義
算術 代數 幾何 各短期卒業 說明懇切平易 方法嶄新 會費低廉 受驗者絕好の伴侶
東京本郷區駒込林町 東京數理通信學院 規則申込次第進呈

大町桂月著
冷汗記
桂月先生の半生は苦鬪失敗の歷史也。先生齡知命に近づき前半生を顧みて萬感湧く。乃ち後進青年の爲に自叙傳を草せらる題して冷汗記といふ…
定價金壹圓 郵稅 東京神田 富山房

家康が黑衣宰相の假面落つ
大僧正天海
三上博士序・辻博士閱 須藤南翠先生著
古來德川家康の黑衣宰相として傳へられ、史上疑惑の妖僧として扱はれたる曠世の怪傑南光坊天海は、今や始めて假面を脫し覆被を發きて純乎たる眞面目を暴露し來れり、義疏曉霧を照破し魑魅影を潛めて魍魎形を設す、天海天海、史家天海を証ひし乎、家を証きし乎、本書を繙きて百年の疑問を解け。
定價貳圓二十錢 東京神田 富山房

經人訓話

饕く勿れ出來十一月號
日本第一斯界の元祖・讀物二百頁・寫眞壹百版
定價は廿三錢 郵稅一錢五厘
活動寫眞雜誌
清水の次郎長 山中鹿之助
懸賞 珍品大繪附錄付
活動寫眞社
東京赤坂 活動寫眞雜誌社

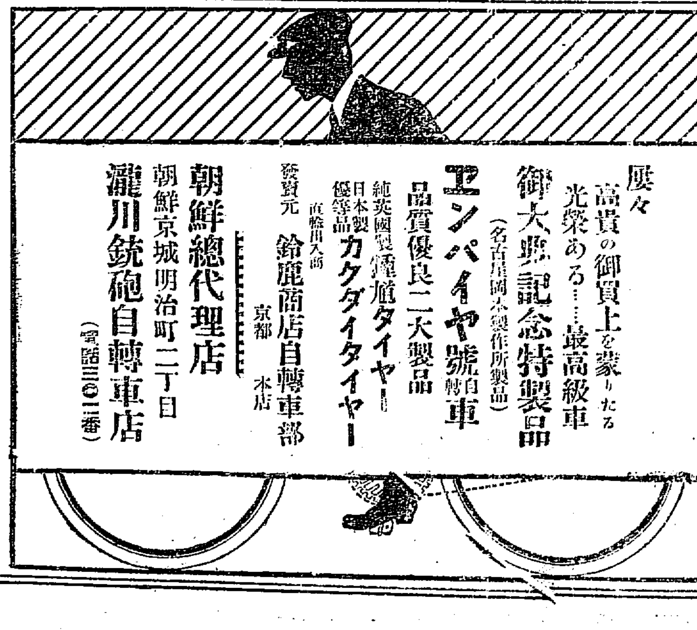
最新最良の中學講義錄に就て學べ新入會者既に三萬人に達せり
大日本國民中學會
第廿六回新學期開講記念の爲め獎學資金及び各種の大特典を提供す
會長 正三位尾崎行雄
顧問 新渡戶博士・和田垣博士・浮田博士・三宅博士・岡田前文部次官
學監 文學博士遠藤隆吉 理學博士山內繁雄
講義見本・規則書 無代進呈
東京神田駿河臺 振替東京四三〇〇番 電話本局三〇〇二番・三〇〇四番・三七〇七番
一、創立以來十四年の經驗を積み教授の適切講義錄の完全は他に比類無し
一、會員は講義錄及雜誌新國民の配布を受け且隨時質疑の權利を有す
一、卒業生は中學校卒業の學力を得部下三大學に無試驗入學の特典あり
一、學術優良の會員には更に學費を貸與し高等專門の學校に入學せしむ

新學期開講 會員募集
東京藥學會
藥劑師 志望者にして通學の餘暇なき者は入會せよ 本會は業務の傍ら容易に其目的を達せしむ
藥學の知識を得んとする者及藥業從事者は速に入會せよ
士幹 東京藥學校講師藥學士 神谷吉兵衞
講師 飯盛前教頭有賀學士神谷學士小島學士野口學士村山學士大河學士望月學士稻田學士稻森藥劑士
本會講義錄は內容嶄新如何なる初學者にても修得尤も容易
藥劑師となる最近道 執筆せる東京藥學講義錄に限
見本會則 次第進呈 申込まれ
此際入會者に限り三大特典を提供
東京神田表猿樂町廿五番地

海員募集
最新の航海に開する學術を講義錄にて教授し海員養成す卒業者は各會社汽船へ直に乘船せしむ四ヶ月卒業會費二圓四拾錢校則進呈
東京芝愛宕町 帝國通信航海學校

日韓書房
新版報告
羽太鋭治編纂 應用家庭醫典 定價三圓五十錢 送料廿四錢
大町桂月著 誤れる文學文章 定價六十錢 送料十錢
大町桂月著 讀書作文 正しき用字法 定價八十錢 送料十錢
福本日南譯 清教徒神風連 定價一圓二十錢 送料十二錢
小栗風葉著 青春 定價一圓五十錢 送料十二錢
京城本町二丁目 電話一五四〇 振替口座一一五

白鶴
特約店 平壤 桑田支店
三和高麗燒は宮內省御用の光榮に浴したり
三和高麗燒 朝鮮特產海老の精
香爐、花瓶、香盒、茶器、菓子器其他種々
海老の精は風味佳良、滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土產として絕好の珍品に御座候
三和高麗燒元 海老の精發賣元
朝鮮鎭南浦 富田商會



屢々
高貴の御買上を蒙りたる光榮ある……最高級車
御大典記念特製品（名古屋岡本製作所製品）
エンパイヤ號自轉車
品質優良二大製品
純英國製 鐘旗タイヤー
日本製優等品 カクダイタイヤー
直輸出入商 發賣元 鈴鹿商店自轉車部 京都 本店
朝鮮總代理店
朝鮮京城明治町二丁目
瀧川銃砲自轉車店（電話三〇一番）

○遣露宮殿下御歸京

閑院遣露宮殿下には途中御支障もおはさず内山大將以下の隨員を隨へさせ給ひ十五日午後八時四十分東京驛御着、天皇皇后兩陛下の御使を始め各宮殿下、寺内首相以下各國務大臣、文武官の御出迎を受けさせられ直に紀尾井町の御邸に入らせられたり、此の日市内各戸は國旗を掲げ歡迎の意を表し奉りたり(東京特電)

○非常召集令不撤廢

ウ大統領紐育州知事に言明す

ロングブランチ來電に曰くウヰルソン大統領は紐育州知事に對し一書を送り墨國々境に於ける米國州兵非常召集令は米墨の平和を望む上に於て不幸にして今猶撤廢せられずと言明し更に附言して曰く軍事當局者は米國軍を撤退せんか必ずや再び墨國暴徒の侵入に遭ふべしとの意見を抱けりと(紐育電報)

○軍需品搬去禁遏

瓊州市民の龍濟光軍入城反對

廣東來電に曰く瓊州市民は龍濟光麾下兵士の入城に反對しつゝあるが一方廣東省民は省議會に於て龍が軍需品を瓊州に搬び去る事を禁ずべしと主張し居れり陸榮廷は今に佛山に在り偷氏の軍隊は龍軍の埋沒し行ける地雷を發掘中にて氏の本營にては日々發掘地雷を爆發しつゝあり(上海特電)

○長官後任

東拓總裁後任發表と共に不日任命を見るべし

東拓總裁後任は既電の如く總督府農商工部長官石塚英藏氏に決定せしに付き不日吉原現總裁の辭表聽許と共に新總裁の任命發表あるべく偷石塚氏の後任も既に決定し居る由なれば之れ亦不日任命發表の筈なりと(東京特電)

○滿洲だより

▼滿鐵森林調査 滿鐵産業課にては毎年滿洲各地に專門家を派して森林調査をなさしめ居れるが吉林方面の森林は昨年中其大體の調査を終りたるを以て本年は撫順方面より興京通化に亙れる一帶の森林を調査する筈にて右につき滿鐵の依囑を受け札幌農科大學教授林學士宮川健吉氏は本月末來連すべく同氏の著連を待ち公主嶺試驗場の柳町農學士以下調査班一行は來月中出發その調査に着手する都合なり

▼四鄭線準備 四鄭鐵道は九月中線路の測量を終り一部變更箇所の測量も大體終了したるを以て目下沿線離地に關し著々その歩を進めつゝあるが線路延長約五十二哩半にして停車塲は八面城、海風、三江口の三箇所に設け遼河の鐵橋は鐵材不足の今日とて當分の間木鐵の假橋を架設することに決し來年解氷を待ちて直ちに工事に著手すべく工事は著手後一箇年半位にて竣成し大正七年中頃には假棚通を見るべき豫定なり用地購入は廣局長自ら其衝に當り各縣知事より人民に諭告を發せしめ圓滿に進捗しつゝある模樣なれば是も本年中に纏まるべし

▼滿鐵列車改造 滿鐵の旅客列車は朝鮮鐵道のそれに比し外觀内容共に劣る所あり其の一二等車は鮮鐵及び院鐵の二三等に相當する爲め鮮鐵との聯絡の際には滿鐵の一二等を鮮鐵の二三等に充る始末にて從來之れに關し滿鐵に對し種々の苦情ありしが滿鐵にては今回愈々その客等列車を鮮鐵のそれと略々同樣のものに改造するに決し目下沙河口工塲において客車改造の工事中にて三等の一部は既に改造出來し現に運轉しつゝあり改造客車の全部運轉を見るは本年又は來々年となるべし猶ほ之と同時に一等賃金を現行賃金より多少低減し二三等賃金は現行賃金より多少値上げする筈なり

▼長春建値決定 長春重要物産取引所の建値問題は支那商側の紛々たる苦情の爲め既定の金建を實行する能はず兎角行惱みの姿なりしが此程に至り漸く妥協成り(一)現物受渡代金は其の十分の四迄は金を以てし他の殘額は取引所の發表する金の換算率により官帖を代用することを得(二)證據金及び手數料は金を以て信託會社に提供すること但し證據金に限り官帖を以てする場合は金一圓につき官帖二十吊文換とすといふ條項の下に兎も角も金建を實行することに決定したり本件に就ては取引所において支那商に大分讓歩したる所ありと云へば實施後の如何は更に注意を要するものあらむ

▼柞蠶は大失敗 滿洲特産物の一に數ふべき柞蠶は本年も既に繭收期に入りたる事とて例年の如く支那商人は續々買込に著手せるが本年は到る處何れも不成績にて安東縣鷄冠山附近の如き害虫の發生にて蠶兒の斃死夥しく數十年來稀に見るの大不作なり鴨緑江上流の通化恒仁、寬甸地方及び太孤山方面は左程の不出來にあらずと云ふも好成績とは言ひ難く僅に萬家嶺、松樹、蓋平及び海城附近において幾分の增收を見たるに過ぎず一般より云へば先づ失敗の方にて自然品質も良好ならず而かも價格は例年の約倍以上にて猶暴惜みつゝあるが如し(十二日大連支局)

◉移民素質改善

村上東拓殖民課長談

東洋拓殖會社が本年度に募集せし第七回移民は既に九月三十日を以て各府縣の受附を締切り居れるが昨今受附締切前の申込みに係る分二十若くば三十通宛會社に到著し一方殖民課は移民の審査を開始し漸次承認不承認の差別を附しつゝあるが右に付村上殖民課長は曰く本年募集の移民は十一月中旬頃迄に各地方廳の受附に係る分全部會社に纏まるべしと思ひ居れり從つて應募數も其上ならでは判明せざれども少くも募集戸數一千五百戸を下る如き事はなかるべし斯く云へば數年前三千戸四千戸の應募者を見たるに比し如何にも不成績なるやう思はるれど事實は必らずしも然らず乃ち數に於て激減せるも質に於て往年に比し著しく改善されたるを見ること是れ各府縣が數回移民受附を經驗せる結果東拓移民として申込者の適不適を鑑別し到底資産身許等の低劣にして會社が承認し得ずと思ふ者は地方廳にて其の不可なるを說示し應募の受理を拒否しつゝある由に由るものゝ如くこれ應募總數の著しく減じたる一の重大原因なり從つて本年應募移民は大體に於て其の八割乃至九割は承認して差支へなく之れを前年に比すれば非常の差を見る云々

◉朝鮮は流石に大陸也

將來或は內地を凌駕す可し

朝鮮駐劄軍司令官 秋山中將車中談

秋山司令官は夕刊所報の如く十五日午後八時五十五分龍山驛着列車にて歸任したり、其の車中談に曰く

▲成鏡道方面 を歩いたのは之れが二度目だが前回は明治四十二年だつた、此の邊は何と云つても牛の産地で頭數も多く又其の體質も實に立派なものだ、朝鮮人は牛を飼ふことにかけては特殊の腕を持つてゐる、此の點に就いては到底も日本人の及ぶ所でない、南道でも北道でも近來優良牛增加の傾向を見るに至つたのは結構な次第で今後も益々之を獎勵するがいゝと思ふ、本道は又水産に富み明太なぞの漁期に入ると大變賑ふそうだが其の干場を見ただけでも盛な樣が想像される、また農産物も相當あつて畓も少く無い樣だが然し豆滿江對岸の間島や琿春なぞに比べると到底も叶はない、自分は此方の岸から見て歩いた丈けだけれど對岸は隨分平野が廣い樣である

▲彼地は鑛物 が多いと見にそれから永興や城津邊りからは盛んに黑鉛を掘り出し、また羅南や會寧附近からは石炭が出る。石炭は露頭部許りについて而かも手掘といふ狀態だから今では大した事も無いだらうけれど秩序的の作業をやつたら大分出るに違ひない。對岸に於ける鮮人の發展も却々顯著で間島なぞは住民の四分三までは鮮人で以て占められてゐる。馬山に行つたのは今度が始めてだ。頗るいゝ所で新馬山の如きは避暑なぞには誂へ向きの所であり鎭海灣は港として立派なものである、然し商業方面では勢力を釜山に取られて仕舞つてゐるから餘り發展はせぬだらうけれども軍港としては極めて重要の地點である此處には當て鎭守府が置かれるとの說があつて一時非常に人氣を引いたが經費の都合か何かの爲め遂に見合せとなつたのは市民に對しては洵に氣の毒の次第である。平壤邊りでも近來砲兵工廠

▲支廠の問題 で大分賑ふてゐる樣子だけれど未だ確定した譯ではなく無だらうと思ふ砲兵工廠と云ば龍山邊でもまた噂があるそうだが此處は兵營なぞが建揃たら隨分狹くなる一時に色々なものが出來ては這入切れなくなりはせぬか釜山迄扈從奉迎した閑院宮殿下は騎兵隊の御出身であらせられるので自分は能く承知してゐるが誠に御立派な御方であつて御壯健であり御元氣であり殊に佛國には永く御留學遊ばされたので佛語は非常に御流暢である。今度の樣な御大任は今後も主として殿下が御果しになるであらう。今回の御旅行中旅宿に御著きなされたのは僅か三日のみで其他は悉く

▲汽車か汽船 に御寢みになつた御入浴を遊ばされたのも三回許りに過ぎぬと承つては隨分お恐らい御旅行であつた事が判る。今度の視察中特に感じたといふ程のものは無いが與地に行つて見ると荒廢の跡を恢復することの必要さが泌々と感ぜられる、今日では殖林事業も大分進むでゐるし道路なぞもドン／＼改修して居る樣ではあるが何しろ荒れ方が非道いので一寸始末に了へぬ。殖林の狀況を見ると多く平地に殖わつてゐる樣だけれど、さしづめ之を山の谷合に植ゑ並して山脚には堤防を築いて治水の途を遺憾なからしめるが大切だと思ふ、如何しても水源を涵養して山の水を喰ひ止めることに努めねば折角立派に出來た道路でも降雨の都度破壞されて暗渠が壞れ橋梁が落ちる爲め

▲道路の効力 を充分に發揮することが出來ぬ憾がある。また道路自身としても賦役で出來たもの抔は所謂素人作りが多く暗渠の如きは如何も設備が充分でない樣に思はれるものがある。自分も之れに就いては色々考へて見たが今の處では何とも仕方がない、荒廢を恢復するには其の根源に溯つて先づ治水から掛からねば到底も駄目である。然し朝鮮の將來は餘程有望である。軍隊に取つても演習に恰好な場所は隨所に橫はつてゐる、朝鮮は山が多いといふけれども平野も決して少くない、內地と比べたら或は朝鮮の方が平野に富むでゐるかも知れぬ。軍を行るには極めて恰好の所が多い道に朝鮮は大陸だ、之れが改良されたら內地よりも却つて良くなるだらう。人民でも今日は餘程從順になつて命令に服從することは寧ろ内地人に優る位である、民心もまた極めて平穩で今日では最早如何な處に行つても不穩な氣分は少しも無い兎に角朝鮮の將來は慥かに有望である。

◉朝鮮航路現狀

遞信局の調査に係る朝鮮及び近海沿岸定期航路は沿岸のみのもの百八十六隻五千五百九十七噸近海二百二十七隻六萬零五百六十一噸なるが其の內譯狀況左の如し

▲沿岸のみを航行命令航路

受命者	隻數	噸數
朝鮮郵船株式會社	一八	三、六八九
鎭南浦汽船合資會社	三	九三
高羽秀吉	一三一	一、〇〇〇
計	一五二	四、七八二

▲自營航路

經營者	隻數	噸數
朝鮮郵船株式會社	三	一、〇五五
釜山汽船株式會社	二	一二〇
澤山兄弟商會	二	八七
其の他	三〇	四二一
計(命令船併用二)	三四	[illegible]

▲沿岸及び近海の逓接命令及び官營

經營者	船數	噸數
鐵道院	五	一二、三三六

朝鮮郵船株式會社	六	五、三五五
大阪商船株式會社	三	三、七七三
日本郵船株式會社	三	六、三九二
大連汽船株式會社	二	二、二七六
阿波國共同汽船株式會社	一	一、四七七
光商會	一	一、八九九
對馬運輸株式會社	一	五二四
淺見亮	一	四一七
計	二三	三四、三三九

▲自營航路

經營者	隻數	噸數
大阪商船株式會社	八	一〇、二六七
尼崎汽船部	四	二、九九八
日本郵船株式會社	二	四、九五三
朝鮮郵船株式會社	二	一、二八五
其の他	二	九二三
計	一八	二〇、四二五
合計	四一	五四、八六四

◉苦力歸國者續出

本年浦鹽方面の露領に出稼げる支那山東省の苦力は其の數例年の約二倍の多數に達し既に結氷期切迫し來りしを以て最近浦鹽發の朝鮮郵便船にて元山上陸京元線に乘じ仁川より歸國する者漸く生じ來り今後益々多かるべきが上記の如く出稼ぎ者夥しき數なるを以て從つて浦鹽復航の苦力輸送は盛況を呈すべしと云ふ

哈爾賓より(第三信)

琴花

砂塵の都哈爾賓は戰時の諸物資を西方に求め難き極東の貿易地として遺が如く漫潮たる姿勢なり歐露商人の此地に來りて商取引契約に從事するもの少からず優良の商品にして速かに當地に到著せしめ得る道を講ずるものあらば成金することの的確なる大地を打つが如し唯東清鐵道戰時輸送力の貧弱なる南滿列車の聯絡引受を一日十五車に制限せるがために長春驛に停滯し寬城子站に山積する貨物は殆んど輸送の方法無く浦鹽の堆貨を整理するには今後二年間を要すべしと云へり儘にならぬを昔より浮世と謂ひ小包郵便の姑息は袖の下に加かざる遠し哈爾賓渡しの契約品が期限を失して違約に問はれ阪神商人の股を裂ける應接に遑なきは事情の不案内なると信用調査の杜撰なる概牡丹的の空利に眩惑せる無慾に似たる大慾の因果にて首尾克く猶太の猶商が網に罹せられしに外ならず計略圖に當れる猶太の民は兩端を綰の具に塗りて字の書けぬ鉛筆を失敬し片袖なき莫大小襦袢を占領して空手商賣を行ひ而して日本商品は粗製濫造の罵聲を浴びて支那人の更に運ましき濫造は巧みに日本品の惡評中に一併包攝せられて赤き舌を吐く

我が同胞にても松浦洋行、熊澤商會長岡洋行、堂德洋行等は堂々たるものなり露商の優なるはチユーリン支店を始めモストワヤ街のトウンクリキタイスカヤ街のゴリドベルグ、聯泰、コンナヤ街のカーネル等を數へ此等との取引は決して間違あることなし然も支那商の機敏に至りては一等地を拔き莫斯科に於ける商品の缺乏を奇貨とし遜早く我が商品を携へて彼の地に懸ぎ我が商人は長蛇を逸して一著九圓にて仕入れ十三圓にて賣るべかりし毛メリヤスを昨今六圓五十錢に投げ賣りするの餘儀なきに至り目下哈爾賓邦商の手に貯留するシャツ類は約八萬打を下らずと觀測せらる支那人の新市街たる傅家甸の殷盛を見る時は商賣にかけては却々彼等の伎倆の侮るべからざるを思はしむ

哈爾賓の繁華は我が勢力の增加せると支那人の殖へたると露國商人の來往賑はしきに因る半面に於て高加索波蘭地方に住する一種の人類が戰時警戒の羈絆より流れて自然に極東に入るもの多き一消息あるを認めずんばあらず彼等は其血脈に動もすれば無恥と殘忍性を帶ぶ貨殖慾に誘惑せられて人格の劣等を表白し大損害を被りて眼を白黑する我が自縄自縛の徒と等しく國家に取りては危險性の甚しきものなり(十月十一日)

人事消息

▲飯岡政重氏(工學士) 十五日入京不知火へ

▲篠多半三郎氏(篠多商會主) 入京中の處十五日朝退京

▲山口爲一郎氏(富士屋ホテル支配人) 同上

▲山口清村氏(實業家) 同上

▲ウエルヘアン氏(獨山金鑛員) ▲飯島榮一氏(同) 入京中のところ十五日朝退京

南善北語

支那では袁世凱が帝政製造の曉に創設殊勳者に與へやうと思つて三十萬元の製造費を出して寶光大勳章と云ふを造つてあつた▲金銀寶玉を鏤め贅澤物としては極度を見せたもので頗るの上等物である▲處が袁氏死去の後は何うする事も出來ぬまさか其儘潰して了ふも惜いさりとて烏渡誰れに與へる事も出來ぬ其質の寶の持ち腐れをして居た▲黎總統却な好い事を考へて今度國務員の殊勳者に與へる事にした相な此の話を帝政派連中が聞いたら定めて涎が大分流れる事だらう▲勳章と云へば例の蒙傑巴布札布が勳二等旭日重光章に酷似した勳章樣の物を持て頗る得意がつて居る▲之れは不思議まさか日本から貰つたのでもあるまいと聞いて見ると▲日本の浪人團が送つて大に媚り立てた道具だ相な▲巴布公は實際日本政府から貰物を贈呈されたと積で大に悅に入つて居るとは隨分酷い罪造りをやつたものだ▲政黨界も大分賑つて來たらしいが試みに黨人の去就を見ると各派の領袖株では尾崎氏程動いたものはあるまい▲改進黨、進歩黨の中間の後藤伯の大同團結にも入り憲政黨を經て憲政本黨から政友會に赴き一時政友會を脫して猶興會▲又新會の人となり更に政友會に復歸して又結黨政友俱樂部中正會の首領となり今度の合同黨ア、面倒▲兎に角殆んど有りと有ゆる政派に籍を置いたが而かも行くとして可ならざるは無かつたものだとサ

出超夥多

[illegible]にして二億六百三萬五千圓の▲輸出超過を示せり之れ[illegible]に於て四億一千八百十萬二千圓(四割六分)を增加せり斯くの如きは過去十年間に未だ曾て見ざるレコードにして如[illegible]同年期に比較し四割六分強を增加し輸入に於ても約二割を增加し歐洲方面に對しては輸出に於て十三割九分輸入に於いて十五割四分滿洲方面に對しては輸出に於て五割七分輸入に於て三割[illegible]

▲世界各方面に對して我貿易額の增進したるには自ら左記の[illegible]

一、米國經濟界の隆昌に促されたる同國向輸出貿易の活躍したる事

一、輸出貿易の好況に伴ひ工業用原料品の需要增加し爲めに自ら輸[illegible]

◉放蕩の果

山口縣都濃郡下松町生れ住所不定の岩山嘉助(三)は大正四年九月十四日京城本町二丁目古城[illegible]恐れて殘金四十餘圓は蕩費として滿洲に逃亡しあるも遂に逮捕せられ京城地方法院にて十四日懲役一年六[illegible]

悪疫流行の今 ヘルプ活用の時

今夏は例年に比して悪疫の發生多くて多方面である云はゞ諸君の近隣にも赤痢がある近隣になければ近市町村には大抵ある、旅行をすれば通過地にも行く先にもある、無論諸君の警戒に拔目はあるまいが、例へ赤痢コレラの黴菌に犯されても夫に抵抗し得る丈腸胃の力を養ひ置くのが最も肝要である故に前宮内省侍醫柏村博士處方の

殺菌性下痢止 腸胃藥ヘルプを 用意して下痢腹痛を治し腸胃の作用を健全にするが

今日の緊急要件! 悪疫撃退の要塞!

殺菌力絕大なる 下痢止腸胃藥

定價 (ポケット型)携帶用 二十錢 三十錢 五十錢 一圓 德用 二圓五十錢

下痢の原因

が多く不消化と黴菌作用なるを知らば藥劑の撰定に又其注意を要す

●然るに從來の賣藥は單純なる收歛劑にして消化と殺菌力に注意せし物なし

●柏村博士のヘルプは此缺點を考慮配劑せし他に類なき下痢止め腸胃藥なれば、一般下痢に應用して奏効迅速且つ安全なり

(ヘルプ主効)

▲食傷 ▲水あたり ▲時候あたり ▲寢冷 ▲消化不良 ▲食過 等より起る

●下痢 ●腹痛 ●吐瀉 ●澁り腹 ●腸瓦斯を止め ●腸加答兒 ●胃加答兒を治す

醫者の來るまでヘルプが必要

凡て傳染性腸胃病は其起るや疾風の如く一刻の差違に生死の境となる袖手して醫者の來るを待は迂なり故にヘルプの如き完全なる腸胃藥を常備して應急手當を施すは智者の用意なり

ヘルプ本舗 東京日本橋本銀町三 振替口座八六四番 津村敬天堂

(ヘルプ取次は全國到る所の藥店にあり)

……易額は輸出七億六千四百四十三萬九……四圓）を増加し輸入に於ても二億四……千圓輸入五億五千八百四十萬四千圓（……千七百六十五萬二千圓（三……九……合計十三億二千三百八十四萬三千圓（……圓）を増加したる結果合計に於ては……

▲對外貿易が活躍せるかを知るに足るべし即ち東洋及び南洋方面に對する我貿易は輸出に於て前……對しては輸出に於て七割九分輸入に於て七割三分強を増加し

▲南米に對しては輸出に……三十一割強輸入に於て五割七分強を増加したる事實を示せり而して上述の如く……著大……之を己に受領の……

一、東洋南洋濠州及び南亞南米方面に對する歐洲品の代用品輸出盛況を呈したる事

一、戰亂の影響として輸出入貨物の價格が一般に騰貴したるより輸出入貨物總價額を増加したる事等即ち是なり（東京）

第二松花江畔まで　我が新らしき權利の地

三、暗い列車　十八人に一本の蠟燭

涯なき野に放牧される牛、馬、羊

汽車は寛城子驛を發して伊通河の鐵橋を渡る伊通河は農安縣北方に於て第二松花江に會合する、鐵橋の南北には步哨兵舍が置いてある、猶ほ線路に沿ひて各處に鐵道守備隊の兵舍が在つて其の附近には必ず電柱に棧を打つた如うな展望梯子が掛てゝ在る、穩やかなる小春の日光は黃色の林や野を照らして地平線の上には一點の雲も無くたゞ／＼黃色に染まつた林や森が現はれて來るばかりである線路の兩側二三十間の間は鐵道の附屬地で枯草が蓬々と霜と野分の風とに晒されて居る、其他の畑地はよく耕されて一枚の畑の際限しが見ねぬやうな大きな耕地ばかりだ高粱や粟や稗などは最早や皆な收穫を終つて野に晒らいて居る農夫は高粱や粟の稈を圍めて馬車に積込んで居るこれから寒い内中爐（溫突と稍々同じもの）で焚く料は多く此の高粱稈である

◆小さな滿洲馬を八頭位繋いだ馬車

には男女の旅客が十二三人も乘つて畑の中をガタクタつて行くのも見ねる、滿洲と云へば荒野のやうに考へて居る人も有るが決して荒野ではない遼東半島などの磽确の地と見て滿洲の土地は斯んなものと思ふと大變な相違である、南滿鐵道の鐵嶺附近から土地は非常に肥沃である事は農作物の稈の甚だよく成育して居る事や、未墾地に生ゐる樹が毎年初冬には燃料として刈取られるにも拘らず夏の間に一丈餘に成長するを見ても又鐵道沿線の各驛に露西亞人が植付けたポプラなどの偉大なる成長振りを見ても土地の肥沃なる事は直ちに證據立てられる又滿鐵や東清鐵道沿線の風景が單調である殺風景であると云ふ事をよく聞いたが決して單調でも殺風景でもない、雲も畑も野の末を煩はすものなく曠野一望直ちに碧空に連らなる此の雄大なる風景を愛する事の能きぬ人は大洋の渺遙かなる眺めをも愛する事の能きない人だ箱庭や狹い谷底のゴチャ／＼した處ばかりが絕景だと考へ込む人である、人形も美しいけれど更に象の鞴にも雄々しい美しさを發見しなければならぬ、

◆此の廣漠たる平野の單調を破つて

處々に紅葉した林が現れたり煙のやうに湧き出して來る森もある森の木の葉は黃や紅に染まつて何れも大木が密生して森の中は小暗く日の光さへ射さぬ樣子である森林の美しさは廣茫幾百里千古斧鉞入らざる大深林にもあれど眺望遙けく目も疲れるやうな曠野の處々にコンモリと茂つて居る森林の懷しさは又格別のものである、森や林の陰には必ず村落が有る傍には池や沼などが大きい平野の眼のやうに光つて碧空を映して居る滿洲平原の眺めは此等無數の平地林に由つて調和されて居る、

◆奉天から鐵嶺迄の

平野は殆ど水平を成して居るが長春以上の原野には緩い波狀形の小丘が靜かなる日の海にある漣の數より多く起伏して居る村落は必ず此の小丘の南を享けた處に五六戶或は十四五戶宛塊まつて其處には必ず森がありて森の附近には牛、馬、羊、豚、鷄、家鴨などが放養されて何枚も何枚もの油畫を織ぎ合せて見て居るやうである其の內に

◆月が何時しか森の

上に登つた、汽車はやがて米砂子驛に就いた露西亞人の乘降客が少し許りあつた寂しい驛ではあるがプラットフォームなどは堂々たる者で長さ百二三十間巾も十二三間はある十五分ばかりの停車中驛の構內を見て步くと夕陽樹の間を血のやうに染めて驛員の家と憲兵と巡査と鐵道守備兵の家と外に支那人の二十戶ばかりの村落と日本人の賣藥商人が二人居るばかりである、驛にも寂しい灯が二つ三つ點された自分の座席に歸つて扉を閉けて見ると中は眞闇であるがよく見ると

◆烏海驛に向ふ途中

鐵道社宅の窓からギータの繊い音が流れて來る「故鄉戀し」と彈くかと思へば廣野の中にポッネンと立つて居る小さな驛の秋の夕暮は他の身にも我身にも可成りに寂しいものである米砂子驛を出て遙に遙に東の方の野の果にて影のやうに薄い山の峰が三つばかり連つて夕陽を浴びて立つて居る斯うした曠い平原の果てに見出した山の景は限りなく珍らしく亦なつかしいこの山は吉長線上下に近く穆貯河の上流の山であらう烏海驛に着いた時日は全く暮れて地平線に燃ね上つた殘照も薄く消ねて其の代りに十四日ばかりの月が靜かに野や森や丘を照し始めた烏海も米砂子と同じやうに小さな驛であつた

◆ゾヤボボワ嬢の白い頰を照らして

居る薄い灯が何處からか射して來るので仰向いて見ると天井に六角の燈が付いて居つてそれに一本の蠟燭の火が點つて居る「大變に闇いです ね」と云ふと「それでも本を讀むには充分だ」と云ふ自分にはこんな灯で本を讀む事は能きないと思つた窓から射し込む月の光の方が明るかつた、東

◆日本語が少し出て英語と半分半分

滿線の列車で電燈を點けるのは一週間に一回の露都直通連絡列車ばかりであると云ふ二等や見ても三等を見ると更に闇さが甚い室と室との中間廊下の天井に火を點すから二等は八人に蠟燭の火が一つ三等は十八人に一つと云ふ計算に成る、此眞闇の中で四十面を下た露西亞の列車勢乘兵は太さも樂しさうに大な聲で歌を唄つて居る「アレは大變卑猥の歌です」とゾヤボボワは云つたゾヤボボワは今年の八月東京へ行つたのだと云ふで話をする「日本は大變に好きな處だから自分は一生日本で暮したい、しかし日本の馬は大變に性が惡くて悍れるから馬だけは露西亞から連れて行かなければ安心に散步が能きない、自分は大變馬に乘る事は巧いが日本の馬には閉口した」などと話した

◆年は二十二だと云ふ

一寸見ると十六七位にしか見ねぬ日本人の好きそうな美人型だ金髮を五六寸位に切て眞中から分て居るから一寸見ると子供のやうであるが優しい瞳や頰や唇の色がどうしても男とは見せぬどう云ふわけで髮を短かく摘んで居るのかと尋ねて見やうと思つたけれど何んだか彼女の秘密にでも立入るやうな氣がしてそれは尋ねなかつた東京に居る間は下澁谷六百七十一番地のブルガコフと云ふお友達のお父樣の家に居つたと云つた

◆日本に行つた目的

や動機などを尋ねたがたゞ「大變に行度くて堪らなかつたからだ」と云ふばかりだが父樣は印刷會社の支配人をして居るなども話した「露西亞の小說を讀みますか」などと尋ねたり「どんなものが好きか」などと彼女は引切りなしに話を持かけた、汽車が驛から二丁ばかり距れた、間瀨と云ふ日本人旅館に投じた丁度お女將さんは長春に行つた留守で

◆男ばかりで有るが

宜しくばお泊りなさいと云ふ調子だ而し此の旅館は自分に取つては頗る心持が好かつた露西亞建の家の內部を改造して日本間にした座敷には日本式に机まで据へてあつた、光ちやんと云ふ四つになる女の子が人懷しく這入つて來てお瓶具絵本など有り

◆新來の日本人を遇

丈け出して來て見せながら他愛のない話をする恰度久しぶりの兄さんでも歸つて來た時のやうに嬉しがつて一寸も傍を離れない「お叔父さん他所へ行つちや不可ないよ」と袂を捕まへて廻はる此の邊に住む日本人が

する睦しさは大人でも光ちやんと同じやうに親切であるらしい、遲くから風呂まで沸かして具れたので思つたよりも愉快に一夜を明かして明日此の東淸線中第一の大驛たる窰門の市中を見る事に極めたこゝから第二松花江南岸老少溝まで十哩ある將來も此の驛は東淸鐵道南部線が南滿鐵道の一部になつても矢張り一等驛たる運命を持つて居る（膝村特派員）

◉南鮮旅團演習

鎭海重砲兵隊參加

大邱駐屯第四十旅團の南鮮機動演習は愈々切迫して二十日より二十三日迄湖南線大田連山附近の平野にて擧行すべく其の參加の爲め僻遠地方の守備隊は既に漸次動作を開始したるが南北兩軍の主力は大邱步兵第八十聯隊と大田步兵第七十九聯隊にして之れに騎砲工兵隊の一部並に鎭海重砲兵隊の參加あるを以て特に大口徑砲の運搬威力等を實地に演習せらるべく朝鮮として重砲兵隊の參加演習は今回を以て嚆矢とする由兩軍の主力幹部は左の如し

統裁官　陸軍少將　金久保萬吉

副官　同　少佐　神尾直次
同　大尉　稲城豊稔
同　大尉　豊直衞

▲南軍　步兵第八十聯隊長　大佐　安原啓太郎
同第一大隊長　少佐　笹倉昇
同第二大隊長　少佐　伊藤靜造
同第三大隊長　少佐　小田圭次郎

▲北軍　步兵第七十九聯隊長　大佐　富塚貞一郎
同第一大隊長　少佐　平塚直巳
同第二大隊長　少佐　末松四郎
同第三大隊長　少佐　二宮季夫

尙軍司令部よりも觀戰出馬あるべし

◉樂しい紅葉狩

京城佛教日曜學校の秋期運動會は十五日の日曜午前九時から若草町本願寺別院で催ふされた、會場はお寺の境內折柄幔幕を張りパタ／＼と婦つた紙の萬國旗を吹き秋風は酸漿提灯やまくつて居たがそれでも可愛らしき五年少女の人々は徒步競爭や紅葉狩り競爭などに此の上も無く嬉し相であつた、其の他お伽噺や、暗算、團隊の遊戲や、暗算、運算の競技など何れも無邪氣な可愛らしいものばかり催されて附添ひのお祖母さんやお母さんなどもニコ／＼もので あつた、殊にこれ等の子供達には十四五歲の年上の人達が幹部となつて世話して居たが何れも非常な悅びであつた、猶ほ午飯の挪當は一同本堂で認め午後四時過ぎ萬歲を唱へて散會した

（佛教日曜學校運動會）

◉秋祭りと各町の腕較べ

京城神社の秋季大祭と餘興

▲南山を御發幸

南山京城神社の秋祭は十六日の夜から十七十八日の兩日にかけて素晴らしく盛大に催されることゝなつた、神輿は十七日の朝

同日午後六時頃龍山和歌池畔の御旅所に御著十八日再び御還御の豫定である、昨年は共進會騷ぎに聊か閑却された傾きもあつたが今年はウンと大奮發して各町共出來るだけの趣向を凝らす筈である、十六日夜の前夜祭には各町共大幟並びに大提灯を押立て、お宮に集り南山の境內では藝者の手踊や素人相撲が催ふされる、次に十七日夜

▲龍山御旅所に

於ては餘興として博多にわか、素人相撲、淨瑠璃等が催ふされ十八日の夜は再び南山で博多二輪加及び相撲が始まる、また晝間及び夜間の煙火は三日共南山に於て打揚げられ東亞煙草、鍵屋、各町奉納のものとり／＼でお祭の夜を飾る筈、また京城市中の各町內に於ては何れもそれ／＼の珍趣向を凝らすことゝなり緣門、彩旗、提灯、電飾等にて晝夜共町內の景氣を添へる筈、猶ほ

▲京城の花柳界

に於ては先づ京城券番が例年の通り屋臺を出して市中を練り步き十七日の大祭中日には四十五人の美形揃ひの仕丁姿となり神輿のお供を仕る筈、夜はまた思ひ／＼に珍趣向のお祝ひをする筈また中券に於ては玉垣の中に眞榊を植ゑた山車を引出しその前には囃し屋臺の花飾りに美人六十人にて

▲市中を練り廻り

且つ十七日の朝神輿のお供行列に加はり十八日再び南大門停車場までお迎へに出る筈、次に新券番にてはこれも大きな屋臺に仕丁姿の美人六十五名にて市中を練り廻る筈、總じて今年の秋祭りは素晴らしい前景氣である

◉泰平を謳ふ　鹽田村の人々

皆貯金が多い

仁川から北方約一里許り距つた朱安……

は官營の鹽田が出來てからと言ふものは急に富裕の村と化つて而も內藥つて聖代の太平を謳たつて居る、

▢此面も現在こそ七百有人家と三千六百の人口を有し居住民中一人の徒食者も無く孜々として働いて居るが三四年前迄は頗る寂寥を極めたもので、居住民の如きも農業を主として居たが鮮人の習癖として勞働を嫌ひ如何に鹽田に傭はうとしても首を横に振つて應ずる者はなかつた、其處で出張所員は口を酸くして勸說に努め、辛ふじて傭ひ入れてもものゝ十日と辛抱の出來る者が無かつたので大いに手古摺つたが近年は婦人小兒に至る迄も競ふて勞役に服せん事を冀ひ鹽田の修理から、鹽の荷造、運搬等に至る迄各自の能率に應じた仕事に善んで從事して居る

▢此んな具合で製鹽の準備に著手する二月中旬から終了期たる十月の下旬迄の間に於て使役する常傭人夫は約二萬一千人と言ふ延人員數に達し其他に臨時に使用する鹽田附近の居住民に仕拂ふ賃金は年々尠く共一萬圓以上に達する程であるから鹽田附近居住民の福裕さは推して知る可しで常傭人夫の如きは十圓以上二十五圓內外の貯金を有する者が大半を占めて居ると斯樣に

▢一村三千數百の居住民は鹽田の惠澤に浴して平素は農事に勵み農閑期には鹽田に働いて賃金を取るので生活は安樂になり貯蓄は增ゐる其の結果鹽田を愛する念の強い事は想像以外で律義者になると鹽田に足を向けて寢る事さへ憚つて居る程である昨今は己に鹽田も閑になつた爲め常傭人夫以外の者は米の刈入れや、冬期中の燃料を採る可く野や山に働いて居るが、各

◉談合事件控訴公判

京釜線改修工事請負に關する第一第二談合事件の被告は豫て控訴中なりしが愈々來る二十六日午前九時より大邱覆審法院にて開廷し辯護士は東京花井、鵜澤、大井、小川、大阪より勝本の諸氏外三名出席する由

家相當に生活の餘裕があるから盜みをする者も無ければ、其他の忌しい事件も起らない、誠に以て太平無事である（仁川支局）

◉法華宗布敎所新設

府內安國洞法華宗布敎所に於ては去る九月十一日附を以て布敎所設置認可ありたるを以て十五日午前十時より信徒の祝賀會を開催せり

コレラ彙報

▲營口に發生

營口入港の汽船永田丸乘込みの苦力二百五十名の中より一名の眞正虎列拉患者を發生せり右は滿鐵列車を經由せしものなる爲め各驛に於て車の大消毒を行ふと共に滿鐵は支那人旅客の健康診察を爲し目下防疫に全力を傾注し居れり（大連特電）

▲檢疫を免れて

大分縣北海郡生れ當時平壤西町籠田組方姬野源九郎（三）は去月二十二日本籍地を出發同日午後九時虎疫流行地たる門司出帆翌二十四日釜山上陸の際檢疫の必要ありと係員より申渡されたるに拘らず上陸人にまぎれ巧みに姿を隱し檢疫を免れ廿五日午後四時平壤著列車にて到著せる處を平壤署の巡査に取押へられ取調の上海港檢疫法第五條に依り十月十一日平壤地方檢事局へ送らる

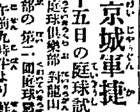
▲廠浦

廠浦姜壽永（五六）は十三日發病十四日死亡、金氏（六三）は十四日午後發病順化院へ二村洞李先林（九二）は十二日發病十四日死亡、桃花洞李永春（八）吳在天（一）二村洞安貴先（一二）の三名は十四日保菌者と判明せり

▲京城軍捷つ

十五日の庭球試合京城庭球俱樂部對龍山鐵道俱樂部の第二回庭球戰は十五日午前九時半より鮮銀コートに開催されたるが當日は朝來烈風吹き荒み試合を妨ぐる所多かりしも結局左記の如く鐵道軍大敗に終り午後一時半終了二時より出場選手の招待會を催し三時半散會したり

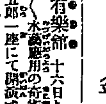
龍山軍	京城軍	龍山軍	京城軍
◎篠崎 島	京城軍	永井 田田	○荘宮 川子
◎松金 本子 戶坪 井ケ崎			稲鈴 田木
◎菊米 川田			織立 丸見



大中松吉大大中矢大澤若國　村川本木川野塚內崎泉田

▲有樂館●十六日よりいよ／＼水藥廳用の奇術吉田菊五郎一座にて開演する筈となれり

▲浪花館●女流浪花節日本三亚子、講談神田伯猿一座にて開演せるが十六日夜の語り物は長州萩の夜嵐（伯猿）少年武士道、高田馬平（三亚子）なり



魔法かと驚ろく程、耳の聞える器械の一大發明

耳の病にてよく聞えぬ人も新らしい耳を貰つた樣に嬉しい

人里離れた山奥の一軒屋に居ても蓄音機があれば東京新橋の全盛藝妓の流行唄や笑聲が面白く聞ゐる又電話は東京と長崎に居て話をして用を辨ずることが出來る昔の人に蓄音機と電話を見せたら魔法使ひがバテレンか狐つかひかと訝かつたに相違ない然るに人智の進步に限りない文明の今日蓄音機電話よりも人助けになり一層驚嘆すべき大發明が今回現れたのである其大發明は即ち耳の遠い人でも音聲がよく聞ゐるやうになり世の中につんぼの無くなる大發明である俗に云ふ耳の聞ゐないのは耳の底にある鼓膜が病の爲めに出來たからであるかゝる人の耳の障子即ち鼓膜が病の爲めに障りが出來たからである然るに是迄の助聽器と違ひ今回發明の新式器械は巧妙なる理學作用で音聲が大きく明白に聞ゐるから耳の惡くなりかけた人も之を用ひれば樂に聞これて病が重らず早く快方に赴き又今日中の人は別によい耳を貰つた樣に嬉しく又治りかけても此器械を使へばれよ

耳が勞せず治り方一層迅速なりされば從來あらゆる醫藥効なく絕望の人は最後の手段に用ひて新時代の進步器械を苦心發明せし東京濟生藥院で研究成功し著々多數の人を救ひつゝある耳病自宅療法は自宅で凡ての耳の病を完全に治療する最新驚ろくべき進步を告げた現代最善の耳新療法であつて前記の發明器械と相須つて鼓膜炎、耳なり、耳いたみ、耳だれ難聽、耳內創傷、外耳炎等の患者の空前の福音なれば右患者は第一著に又最後に助かる手段として一日も早く實驗して耳もよく聞これ凡ての病苦をも一掃する幸福を得らるゝ樣切に勸告す

△無代進呈武錢郵券封入　東京市外西大久保町五一四　濟生藥院

へ死て申込まるれば說明書を無代郵送する百聞一見に如かず早速申込まれよ

義手義足專門製作

（見本郵呈）

脫腸帶、痔おさへ器　新案學丸帶製作發賣

京城本町二丁目五一（電話一〇六番）　高野義肢製作所

御待ちかねの新栗調製

平壤名產　栗ピンズ

外に手持栗玄武飴を忘れずに

平壤（電話五四四番）　秋鹿商店

醇良無双清酒

無害衛生　品質無双

首藤合名會社吟造

精白米御小賣　キリンビール
サッポロビール　醬油　龜甲萬
各種シトロン　三矢布引サイダー　各種

朝鮮發賣元　首藤京城支店　黃金町（電話一一七一番）

內科小兒科　小林醫院

入院隨意（普通病室並に隔離病室）

京城旭町一丁目　醫學士　小林千壽　電話六九二番

建築と設備とは國境に於る代表的旅館なり

新義州常盤町　綠屋旅館　電話六四番

親切叮嚀勤勉は當旅館の特色なり

渡邊默禪

(二三)二千圓の懸賞

源太の話は猶續いた。

『其處へ巡査が來たもんですから、一寸事が面倒になつて、チャブ屋の主人や內儀が引致つていかれる、私を打擲つた支那人は二三人擧げられて了う、一時大騷ぎになつたんでげすが、その時生駒さんは私を介抱しながら自分の車に乘せて近所の病院に送り込んで、それから警察の方へは私の利益になるやうな證言をいつてくれたり、大變な世話をやいたん

でげす。ていした負傷でもなかつたんで、私ア直と警察へ出やしたが、調が濟んで歸らうとすると生駒さんが待つてゝ、私の身元や職業なんかを聞いてから、いやお前は豪い、大勢のチャンを相手に立向つた武者振といひ、袋叩きにされても痛いと一言いふぢやなし、仰のけにふん反げわつて、日本人の死ッ振を見ろい、豚奴と怒鳴つてゐたのが偉い。お前の男らせいところに俺はゾッコン惚れ込んだ。ちよい〳〵遊びに來なといつて、名刺に五圓紙幣をつけて私に無理に握らせてから、さつさと車で歸つたんでさア』。

生駒の柄になさいうなことである。最うその時分から彼の野心が燃ゐてゐて、ちやうど叛逆の陰謀者が有力な味方を募り廻るやうに、是ぞと思ふ人間を物色してゐたのかしら——と大野はそんな想像を泛べながら默つて聞いてゐた。

『あんまり親切過ぎるので、薄ッ氣味が惡かつたけれども、お禮ながら商會の方へ尋ねていきました。それが口切で足を稠く出入をしてゐるうちに、すつかり懇意になつちまつて、洋食をおごられたり金を貰つたりしたことも何度だか知れません。おい、いつまで葬儀屋にゐるんだ。綴寄の惡い男だなア、俺の方に來ないか。へえ、甚まりやした、どうぞお使ゐなすつてと譯もなく話が極ります。それから商會の方へ轉籍をして、小使のやうなことを爲てゐますと、つい過日のこと私を或る料理屋へ連れて行つて、いろ〳〵御馳走をしてから切出したのがソレ、今の話なんでげす』。

『む、どう〳〵本音を吐いたな』。

『で、今度子爵の伴をして山形へ獵に出かけるから、汝も後からやつて來て、鳩子を殺づけてくれないか。成功したらば二千圓の賞與だ。又た希望だといふなら子爵家の大忠臣として長く使つてもやるし、家屋敷もくれてやる、そら手附だといつて投り出したのが二百圓!それぢやあ猫の鼻ッ先に牛肉、飛著かずにはゐられないおやぢアせんか』。

『馬鹿だねえ、君は……只だ二千圓ばかしの目腐金とその鳩子さんの命を取換こにされて堪るもんか。佛しい生駒だけに巧いや。鳩子さんを散々いさしつけて、いかにも子爵家の持餘し物のやうに君に思はせて、君の義俠心——といはうか、人に頼まれば火水の中へも飛込むんだと自惚れてゐる、その氣負ひ肌にぴつたり持つていつたところが猾い。君は實際偽う信じて承諾したんだらう』。

『へえ、偽うなんで……そこはオッチョコチョイの悲しさでね、正直鳩子といふ厄介者を殺ろしてさへやりやア、子爵も安心なさるし、御家來衆も悅ぶもんだと思つたもんだから、山形なら宜しうございますとも、何も鶴香に私の故郷だけに、ドヂをふむやうなことは萬に一つも有りアしません。

花柳病皮膚病 京城府永樂町一「商品陳列館通坂の上」 須古醫院 電話二一〇二番

南山町三丁目巴城館通電話二九二〇 齒科診療 橋本醫院 齒科醫學士 橋本清次郎

美事やつてのけて御日に懸けやすと引受けつちまつて、それからお前さん、どんなことがあつても生駒の名を出されねといふ誓言血判までして同じ汽車でお前さん方と一緒に東京を立つたんでげす』。

こんな風に生駒に使嗾された動機から、山形へ來て一行の跡を尾け、事を遂げようとして三度までも失敗した事實、生駒が故意に吹雪を利用して糧食を絕ち、一行を餓死させようとしたことまで殘らず告白した。

◎俳諧散心(第五十四回)

○我を追ふ人と疑ふ蘆花の夕　たかし
まろび落ちし毒虫の窕夜長哉
○蘆花の風に石灰積んで溯る船　盧中子
汽船過ぎし岸に來る浪や蘆の花
舟までの泥に足跡や蘆の花
長き夜の猫盜心を包みけり
○蘆の花に夜潮ひた〳〵滿ち來たり　田打夫
開閉の蘆花の月踏み人去り
扉押せば灯に木々生ふ庫裡夜長

▼全國青年團聯合の賀表捧呈　帝國青年發行所中央報德會青年部にては來る十一月三日の立太子式に際し全國三萬有餘の青年團體に檄を飛ばしたるに加盟申込引も切らず同所は是が受附に繁忙を極めつゝあり因に右賀表は某大家の撰に成れる賀詞の後に加盟團體名を連署し之に全國青年團體狀況記錄を添へ優雅に裝幀すと尙同所が曩に開催したる青年團講習會の講演速記は之を青年團叢書と名づけ近々出版の都合なりと

▲由利公正傳〔三岡大夫述〕維新の元勳故子爵由利公正翁の傳記にして福井藩出仕時代より貴族院議員として逝去せる迄波瀾重疊の生涯を叙し朝野に於ける幾多の事蹟を詳細に記せるものなり翁の事蹟として推奬すべきは維新の當時より少なからず然も特筆すべきは維新の當時親しく財政の難局に當り以て遂に成就せし一事たらずんば非ず歲月移りて翁の名漸く世人に遠からんとするの時に當りて本書の現行を歡迎せずんば非ず(菊版約千頁三圓東京市神田區駿河臺袋町一光融館)

▲人格と幸福(十月號)六錢京都市祇園萬壽小路東山通西入明治修養會

▲軍人(十月號)三錢東京市小石川區戀川町一五二三號
▲衞生新報『コレラ豫防撲滅號』十七錢五厘東京市小石川區宮下町一二其社
▲刀劍と歷史(十月號)東京府豐多摩郡下澁谷町南豐島御料地羽澤文庫
▲發明及び工業(十月號)五錢東京市神田區裏神保町二番發明工業社
▲巷界新報(十月號)二十錢東京市牛込區下宮比町六其社
▲英語青年(十月號)十二錢東京市小石川區白山御殿町一〇七其社
▲文藝月報『天長節及立太子式材料號』定價不詳東京市京橋區南八丁堀一ノ一東洋文藝株式會社
▲朝鮮農會報(十月號)朝鮮の氣候と小麥栽培の內容狀態との關係に就て(武田總七郎)『本年產の雨試に就て(小田柿太郎)京畿道に於ける特產物の現狀と將來(高見長治)』朝鮮の[illegible]植物調查資料(石戶谷勉)牧馬指南朝鮮總督府』等見るべく其他如例(二十錢)京畿道水原郡日潤面高等農林朝鮮農會

花紅葉

大阪支局にて　香霞

▲新作『暹羅船』は天竺德兵衞等と共に暹羅へ渡つた堺の俠商唐津屋榮三郎の事蹟を仕組んだもので大江戸名殘の同人の姿を見ると髮は慶長頭の結び方肌にはシャツ大模樣の和服の上へ暹羅更紗の短袴を穿ち袖に由緖ある異國風の提げ物椰子の實飾がとりの水筒カピタンのマントなど頗る凝つた姿をしてゐる

▲この榮三郎を雁次郎は何ういふ風に演出するかが見ものである天竺德兵衞は幸四郎が附合ふのであるから面白い芝居を見せるに違ひない唐津屋の娘を演ずる福之助は新升を相續したのでその披露とあつて特に臨時芝雀どころの役をふられたのである披露の口上場も別に一幕金襖の場を出し一同裃姿で口上を述べるといふ優遇、後援の福牡丹も二張の緞帳を贈るといふ大奮發、新升も東輪に演せねばならぬところである

▲改名といへば幸四郎は藤間勘右衞門を襲名して芝居の間に自宅で稽古をするといふことである、中座は奈良丸、角座は山長一派、辨天座は卯之助一座で客を呼んでゐる

▲千日前は相變らず活動連鎖劇が跋扈してゐる、中に播重が依然女義太夫で孤塁を支へてゐるのが淋しくもあるが又心強いやうである、今は長廣が懸つてゐるが彼れの藝は呂昇と追つて遜色と强味で押てゐるのである都會藝術としては稍色彩の剝落したものであるが眞面目な藝に一種の味ひが殘つてゐて相當又別樣の憧れの客を惹いてゐるのであるが、此長廣を東京から招きに來てゐるさうだ昨今呂昇は朝鮮京城に團司は中國筋を廻つてゐるさうである

▲淨瑠璃といへば本場の文樂座は十月興行『木下蔭狹間合戰』で古靭の『壬生村』津の『碁』中は越路の『新口村』切は伊達の『三十三間堂』といふ演しもの越路は病後で暫らく强い語り物を避けるらしいが世話口でないだけ又別趣の味を出すかも知れぬ

●露國資力缺乏

▲結す可き見込なきを以て一先づ[illegible]及び軍需品に對する需要[illegible]

[illegible]國の要する資金は[illegible]實に莫大なるものにして[illegible]あらず唯其資金の一部たりとも[illegible]らむことを希望しつゝあり露の七千[illegible]なる可きも[illegible]を以て[illegible]交換する等他日の證據と[illegible]し支拂を要す可き金額頗る多額にして之が支拂の資金に窮[illegible]更に露國の大藏證券を引受く可きや[illegible]非常に增加して日夜之が製作に從事しつゝあるも尙足らざるを感じ居[illegible]居るかを知るに足る可し然れども是れ戰時に於ける一時の狀態にして

▲戰後歐洲各國の商工業[illegible]

◎空閨の男女に告ぐ

▼動物の睾丸から取つた精分劑▼ ●生殖能力が一服で百倍す

腦力過勞、神經衰弱の結果又は青少年時代の弊習なる手淫や人情の弱點たる房事過度の影響にて生殖機能が衰へ妻を迎へても蜜の如き和合の樂を缺き名は夫婦でも其實水臭く寂しい空閨も同樣にて愛兒も生れず行末心細く生きて居る甲斐のない人も滿足に救濟さるゝの時節到來せり。茲に發表する新劑は[illegible]科大學生殖器科専門教頭醫學博士ホリック氏の最近發見されたる臟器療法の新劑にして今回始めて世に現れたものなれば其效力も隨つて空前、たとひ一たび服用せば[illegible]機械へ蒸汽力をかけると同樣の活動力を生ず[illegible]

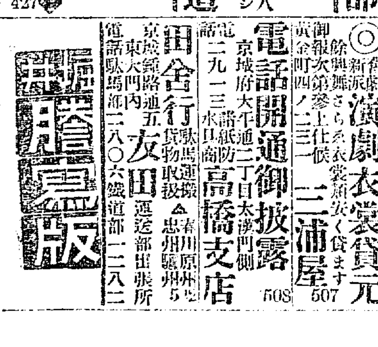
[illegible]發賣元 振替口座東京一五六番

購買公告
一、石炭及木炭
右購買ス入札希望ノモノハ本日以降總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十月十六日　警務總監部

工事請負入札
一、京畿道原蠶種製造所新築工事
右請負ニ附ス入札希望者ハ本月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正五年十月十六日　京畿道

京日案內
▼普通 一回前金[illegible]
▼大正六年カレンダー見本著十二月渡 御報參上 京城本町●電二五二七 ウツボ書店 427
記者及外交員採用 希望者履歷書携帶來談あれ月收五十圓以上確實 花園町一二二 中央金物新報支社
◎乳飲兒預りたし 乳澤山出ます 松本古着店へ御來談を乞ふ ◎先月出産して良 太平通二丁目八九 511
◎金融 番外 大和町三ノ三二 便宜立替 御報伺 御來宅 柄澤前 起木屋 528
醫師及代診生募集 希望者履歷書を添へ至急申込あれ(姓名在社) 534
わた並にふとん類 極力安く賣ります 京城若草町湯屋隣り ヒロセ 533

わた並にふとん類 極力安く賣ります 京城若草町湯屋隣り ヒロセ 553
廣島中國新聞大賣捌 一ヶ月定價三十五錢 大漢門前 電四二六 盛文堂 531
▲諸流謠曲本 振替京城三三九 京城南山町三丁目 中川靜松堂 527
女事務員採用 希望の方は履歷書御持參御來談あれ 京城府鍾路通り一丁目二十二番地 日本國債證券株式會社朝鮮總支店 524
恩給年金立替 利子年一割 (大正館向)京城櫻井町 元祖 博多屋本店 515
京城春川間自働車 京城大門通 毎日午前八時出發 電話二一九番 廣橋自働車 金正淵 428
産婆 小倉松野 電話一三七一 鍾路通一丁目四五(藤井市郎兵衞) 518
京城春川間自働車 京城發毎日午前九時 春川發午前七時半 京城大門通 春川 松田壽男 429
◎銃砲火藥 獵具 京城本町三丁目電話二〇九二番 玲戶銃砲店 488
▲鑛物分析 各種 京城太平通二の二三 電話一九〇 松永分析所 448
恩給年金即金立替 ▲地方同業店取扱 信用特別低利請受 京城永樂町一 商品陳列館前 江州屋本店
▲縄叺莚荷造用品販賣 京城岡崎町 電話一四五三 振替京城八二〇 渡邊商店 471
◎新派舊劇 衣裳貸元 餘興舞踊さらゑ衣裳類安く貸ます 御報次第參上仕候 黃金町四ノ三一 三浦屋 507
電話開通御披露 電話二九一三番 京城府太平通二丁目太漢門側 紙商 水具商 高橋支店 508
田舍行 貨物取扱 駄馬運搬 京城東大門內 京城鍾路通五 電話駄馬部二八〇六 友田運送部 ▲忠州原州出張所 鐵道部一二八二


輕便 印刷器の覇王 京城南大門通 城井 勝寫堂 出張所 電話長四〇二番 振替京城一〇五八番
寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 設備完全熟練せる技術で以て廉價に迅速と親切を旨とし御需に應ず 京城日報社 寫眞製版部

多木肥料

新刊書御案內

書名	著者	定價
平野國臣傳記及遺稿	平野顯彰會	二五〇
本邦鐵道の社會及經濟に及ぼせる影響 上中下 附圖		一〇〇
露國研究	教育學術研究會	一〇〇
立儲要義	手塚虎太郎	八〇
男女性決定論	大塚蘸山	三〇
大日本史改造論	井川巴水	七五
大僧正天海	須藤光暉	三〇
地理教授の方法及內容の研究	牧口常三郎	一五〇
祝賀弔祭演說	大町馬場共	一五〇
作文講話及文範縮刷	芳賀杉谷	一四〇
書翰文講話及文範(縮刷)	同	特一三〇
現代名家書翰集	富山房編	一〇〇
論語と算盤	澁澤榮一	一〇〇
事務の取扱方	菅川忠雄	二〇
修養訓話成功	山田渡汐	二五
愛の一年	三島霜造	一〇〇
代數學學び方考へ方と解き方 上下	藤森良藏	七〇 六〇
はじめて將棋手ほどき	小野五平	四〇
朝鮮官民必携法律問答	坂上綱吉	四〇
同朝鮮行政法規大意	乃達大壽計	四〇

京城本町 電六八四 二〇八六 振替京城二五七 大阪屋號書店

花柳病外科専門 ◎梅毒◎淋病◎泌尿生殖器病 ◎婦人病◎肛門病◎皮膚病 ◎六〇六注射◎神經衰弱 ◎診察無料◎包皮其他手術 ◎入院随時 京城長谷川町南大門通殖銀裏 司生堂醫院

金泉醸泉間自動車時間
上り 金泉發 前八、〇〇 一番 / 後一、〇〇 二番
醸泉著 前九、三〇 / 後二、三〇
下り 醸泉發 / 金泉著 [illegible]

金泉織居自動車支部 金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕り候

大邱浦項間自動車時間
上り 大邱發 [illegible] 下り 浦項發 [illegible]
大邱出張所 電話一二七番 大塚農場自動車部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行 相模丸 十一月九日 正午出帆
高砂丸 十月十九日 正午出帆
三河丸 十月三十日 正午出帆
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀 回漕部

尼崎汽船仁川出帆
○君が代丸 月日後四時大阪直行
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
有代丸 十月十八日後四時出帆
大神吉丸 十月十五日後四時出帆
○汐吉丸 十月廿二日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉 回漕部

共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 (關東都督府命令船) 第一共同丸 十月十五日 正午出帆 / 十月十七日 正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候 大連にては南滿洲鐵道各驛と聯絡取扱仕候
阿波共同汽船株式會社 仁川代理店 本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
元山代理店 春日町(電話二四七番) 田口回漕部
京城取次店 南大門(電話二六八・二〇七) 河村運送店

大阪商船仁川出帆
○外航路所屬航路船を除く 同社各航路船の時は五分引を以て運賃取扱仕候
○天智丸 群山、木浦、釜山、關門、神阪行 十月廿一日 後五時出
安東丸 十月廿四日
○漳州丸 [illegible]
○木浦丸 群山、木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行 十月廿一日 後二時出
信濃川丸 十一月七日 後二時出
○群山丸 釜山、横濱行 十一月三日 後二時出
福州丸 十月廿一日
○潮州丸 木浦、關門、神戸、大阪行 十月 日 後二時出
○釜山丸 釜山、横濱行 十月九日 正午出帆
○福州丸
○鎮南浦、大連行 信濃川丸 十一月二日 後二時出
信濃丸
○大連直行 福州丸 十月廿八日 正午出帆
潮州丸 十月十七日
○鎮南浦、龍岩浦、安東縣行 薩摩丸 十月十六日 正午出帆
○清津、浦潮行(元山出帆) 印八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
○上海、基隆、打狗行(大連出帆) 宮安平丸 十一月廿六日 後二時出 / 基隆丸 十月廿七日 後四時出 / 湖北丸 十月十六日 前六時出
御注意 ●印は朝鮮郵船會社と聯絡 ×印は一等 △印は[illegible]
京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話二〇番 五〇番
京城切符發賣所 內國通運會社 電話七〇八番

朝鮮郵船出帆
○全羅丸 十月廿八日 ○京畿丸 十月十八日 ○黃海丸 十月廿日 ○咸鏡丸 十月 日 (門司より釜山各港寄港群山間航路) 釜山發
○穩城丸 十月十九日 ○昌平丸 十月十七日 ○鏡城丸 十月 日 (元山より各港經由雄基行) 元山發
○忠淸丸 十月二十日 ○平壤丸 十月 日 (城津清津西湖津航行復航釜山より門司又は長崎行) 元山發
○盈德丸 十月 日 (甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行) 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 (長生浦方魚津寄港) 釜山浦項發
○三浦丸 十月 日 (長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港) 釜山發
○統營丸 ○濟州丸 毎日 ○巨濟丸 ○慶寶丸 (各港經由麗水行三日目一回木浦行) 釜山發
○順天丸 三日目每ニ (各港經由麗水より釜山行に接續) 木浦發
○慶興丸 十月十七日 (各港經由濟州島行西廻) 木浦發
○慶興丸 十月 日 (南鮮島、濟州島行 月三回) 木浦發
○公州丸 十月 日 (各港經由濟州島行東廻) 木浦發
○宗信丸 十月十七日 (濟州他各港經由 鎭南浦又は自營島行) 仁川發
○江原丸 十月十八日 仁川發
○平壤丸(?) (鎭南浦、大連、芝罘行)
○麗水丸 十月十八日 仁川發 ○晋州丸 (各港經由木浦行)
○金州丸 ○南陽丸 毎日午前 (江華島、喬桐島、海州行) 仁川發
本社 電話長一九五二番二三二番 鐵道行李社及社外船と荷客連絡輸送の便利り詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會相成候
京城南大門驛前 京城荷客取次店 松原運送店(電話長一七〇番)

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 十月卅一日後五時出帆 / 小倉丸 十月廿四日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 十月十九日後十時出帆 / 小倉丸 十一月二日後四時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三琴平丸 十月十七日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 十月廿八日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日八日十四日廿日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部